

授 業 科 目	関係法規			学科・学年	理容科 1年
開 講 期	通年	単位数	0.5	担当者名	熊谷 史子
授 業 の 概 要	理・美容師に必要な関係法規・制度を学ぶ。				
教 育 目 標 (ねらい)	理・美容師国家試験合格レベルの知識習得。				
評 価 方 法	期末試験と授業への関心態度を評価する。 期末考査60%、提出物の評価、授業への関心態度40%とし、100点満点に換算し、60点以上で合格とする。				
授 業 計 画					
回	時間	項 目	内 容		
1	2	法 制 度 の 概 要	社会生活における法の役割、法の形式 衛生法規の概要、理容師法・美容師法と附属法令		
2	2	衛 生 行 政 の 概 要	衛生行政の意義と歴史、分類と生活衛生行政の内容		
3	2	理容師法・美容師法①	目的、用語の定義		
4	2	理容師法・美容師法②	人(理容師・美容師)に関する規定(1)		
5	2	理容師法・美容師法③	人(理容師・美容師)に関する規定(2)		
6	2	理容師法・美容師法④	人(理容師・美容師)に関する規定(3)		
7	2	ま と め と 復 習 ①			
8	2	期 末 考 査	後期1時間		

次年度15時間履修予定

授 業 科 目	衛生管理			学科・学年	理容科 1年
開 講 期	通年	単位数	1.5	担当者名	高橋 まり
授 業 の 概 要	美容師にとって欠かすことのできない衛生関係の知識を、公衆衛生、環境衛生、感染症、衛生管理技術（消毒法）に分けて学ぶ。				
教 育 目 標 (ねらい)	1. 美容師国家試験合格のための知識習得 2. 公衆衛生・環境衛生の意義と美容業との関わりを認識する。 3. 美容所で起こりうる感染症に対して、適切な対処方法を身につける。				
評 価 方 法	期末試験と授業への関心態度、提出物（ノート、小テスト）を評価する。 期末考査60%、授業への関心態度20%、提出物20%とし、100点満点に換算し、60点以上で合格とする。				
授 業 計 画					
回	時間	項 目	内 容		
1	2	公衆衛生の概要（1）	公衆衛生の意義と課題 公衆衛生発展の歴史		
2	2	公衆衛生の概要（2）	理容師・美容師と公衆衛生 保健所と理容業・美容業		
3	2	保 健 （ 1 ）	母子保健		
4	2	保 健 （ 2 ）	成人・高齢者保健①		
5	2	保 健 （ 3 ）	成人・高齢者保健②		
6	2	保 健 （ 4 ）	成人・高齢者保健③・精神保健 練習問題		
7	2	環 境 衛 生 （ 1 ）	環境衛生の概要		
8	2	環 境 衛 生 （ 2 ）	空気環境		
9	2	環 境 衛 生 （ 3 ）	衣服・住居の衛生		
10	2	環 境 衛 生 （ 4 ）	上・下水道と廃棄物 練習問題		
11	2	環 境 衛 生 （ 5 ）	衛生害虫とネズミ 環境保全		
12	2	感染症の総論（1）	感染症発見の歴史 感染症と法律		
13	2	感染症の総論（2）	感染症の分類 練習問題		
14	2	感染症の総論（3）	病原微生物①		
15	2	感染症の総論（4）	病原微生物② 練習問題		

16	2	感染症の総論（5）	感染症の予防①
17	2	感染症の総論（6）	感染症の予防②
18	2	感染症の総論（7）	感染症の予防③ 練習問題
19	2	感染症の各論（1）	主な感染症①
20	2	感染症の各論（2）	主な感染症②
21	2	感染症の各論（3）	主な感染症③
22	2	期 末 考 査	前期・後期各1時間

授 業 科 目	保健			学科・学年	理容科 1年
開 講 期	通年	単位数	1	担当者名	千葉啓子
授 業 の 概 要	基礎的な人体の構造（仕組み）について学習する。頭頸部を中心に解剖学を、人体を理解するために骨角器系、筋系、神経系、感覚器系、血液・循環器系、呼吸器系、消化器系に分けて学習する。小テストや過去問を国家試験対策として練習する。				
教 育 目 標 (ねらい)	人体の構造、機能に関する科学的、系統的知識並びに、現場で役立つ知識を知ること为目标とする。国家試験合格を目指す。				
評 価 方 法	期末試験と提出物（ノート、小テスト）、授業態度を評価する。 期末考査60%、授業への関心度20%、課題提出20%とし100点満点に換算し、60点以上で合格とする。				

## 授 業 計 画

回	時間	項 目	内 容
1	2	頭部、顔部、頸部の 体表解剖学①	人体各部の名称 頭部、顔部、頸部の体表解剖学①
2	2	頭部、顔部、頸部の 体表解剖学②	頭部、顔部、頸部の体表解剖学②
3	2	骨 格 器 系 ①	骨の種類と構造・骨の連結・骨角器系とそのはたらき
4	2	骨 格 器 系 ②	骨の種類と構造・骨の連結・骨角器系とそのはたらき
5	2	筋 系 ①	筋の種類とその特徴・主な骨格筋とそのはたらき
6	2	筋 系 ②	表情筋と表情運動・理容・美容の作業と筋疲労
7	2	神 経 系	神経系の成り立ち・中枢神経・末梢神経とそのはたらき
8	2	感 覚 器 系 ①	視覚・聴覚・平衡感覚
9	2	感 覚 器 系 ②	味覚・嗅覚、皮膚感覚
10	2	血 液 ・ 循 環 器 系 ①	血液のあらまし・血液循環の仕組み・血液の循環経路
11	2	血 液 ・ 循 環 器 系 ②	心臓と血管の働き・リンパ管系の仕組みと働き
12	2	呼 吸 器 系 ①	呼吸器のあらまし・気道
13	2	呼 吸 器 系 ②	肺の仕組みとガス交換・呼吸運動
14	2	消 化 器 系 ①	消化器系のあらまし・消化管の仕組み
15	2	消 化 器 系 ②	消化管の働き・消化と物質代謝

16	2	ま と め と 復 習	小テストと復習
17	2	ま と め と 復 習	小テストと復習
18	2	ま と め と 復 習	小テストと復習
19	2	ま と め と 復 習	小テストと復習
20	2	ま と め と 復 習	小テストと復習
21	2	期 末 考 査	前期・後期1時間

授 業 科 目	化粧品化学			学科・学年	理容科 1年
開 講 期	通年	単位数	1	担当者名	横橋 健
授 業 の 概 要	美容師として極めて重要な意義をもつ「化粧品化学の基本原理の理解と応用能力」を身に付けさせる。				
教 育 目 標 (ねらい)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・美容師国家試験合格レベルの知識習得</li> <li>・化粧品の基本知識を習得し、その機序・危険性について認識する。</li> <li>・化粧品化学の知識・理解を深め美容の専門家への道を拓く。</li> </ul>				
評 価 方 法	期末試験と授業への関心態度、提出物（小テスト）を評価する。 期末考査60%、授業への関心態度20%、提出物20%とし、60点以上で合格とする。				

## 授 業 計 画

回	時間	項 目	内 容
1	2	化粧品概論（1）	社会的意義と品質特性 化粧品の規制
2	2	化粧品概論（2）	化粧品の安定性と取り扱い上の注意 化粧品と安全性
3	2	化粧品原料（1）	化粧品の対象となる人体各部の性状
4	2	化粧品原料（2）	水性原料①
5	2	化粧品原料（3）	水性原料②
6	2	化粧品原料（4）	油性原料
7	2	化粧品原料（5）	界面活性剤①
8	2	化粧品原料（6）	界面活性剤②
9	2	化粧品原料（7）	高分子化合物
10	2	化粧品原料（8）	色材①
11	2	化粧品原料（9）	色材②
12	2	化粧品原料（10）	香料
13	2	化粧品原料（11）	その他の配合成分
14	2	化粧品原料（12）	ネイル、まつ毛エクステンション用材
15	1	期 末 考 査	後期1時間

授 業 科 目	文化論			学科・学年	理容科 1年
開 講 期	通年	単位数	1	担当者名	北野史
授 業 の 概 要	美容師として必要な西洋と日本の美容の歴史を文化的な視点から学ぶ				
教 育 目 標 (ねらい)	美容師として必要な文化的背景と知識を習得する 家試験合格レベルの知識を習得する				
評 価 方 法	毎回单元ごとのプリントを配布し、授業内容の確認と学びの進行状況の手掛かりとする。また、授業中の取り組み状況の確認として、プリントを集め達成度を確認をし、期末考査50%、プリント達成度30%、授業の関心度20%とし、100点満点に換算し60点以上で合格とする。				

## 授 業 計 画

回	時間	項 目	内 容
1	2	総 論	総論
2	2	日 本 の 理 容 業 美 容 業 の 歴 史	理容業・美容業の発生 江戸時代の理容業・美容業
3	2	日 本 の 理 容 業 美 容 業 の 歴 史	近代の理容業・美容業 現代の理容業・美容業
4	2	ファッション文化史 日 本 編	縄文・弥生・古墳時代
5	2	ファッション文化史 日 本 編	古代（飛鳥・奈良・平安時代）
6	2	ファッション文化史 日 本 編	中世（平安末・鎌倉・室町・戦国時代）
7	2	ファッション文化史 日 本 編	近世Ⅰ（戦国末・安土桃山時代）
8	2	ファッション文化史 日 本 編	近世Ⅱ（江戸時代）
9	2	ファッション文化史 日 本 編	近世Ⅱ（江戸時代）
10	2	ファッション文化史 日 本 編	近世Ⅱ（江戸時代）
11	2	ファッション文化史 日 本 編	近代（明治・大正・昭和）
12	2	ファッション文化史 日 本 編	近代（明治・大正・昭和）
13	2	ファッション文化史 日 本 編	近代（明治・大正・昭和）
14	2	ファッション文化史 日 本 編	現代Ⅰ
15	2	期 末 考 査	前期・後期各1時間

授 業 科 目	理容理論			学科・学年	理容科 1年
開 講 期	通年	単位数	2.5	担当者名	金野夏奈 川村重夫（実務経験）
授 業 の 概 要	理容の意義を十分に理解し、理容師としての基礎知識を学ぶ。				
教 育 目 標 (ねらい)	理容師に必要な理論と国家試験に必要な理論を身につける。 国家試験合格レベルの知識を習得する。				
評 価 方 法	期末考査、授業への関心度、課題提出を評価する。 期末考査50%、授業への関心度20%、課題提出30%とし、100点満点に換算し、60点以上で合格とする				

## 授 業 計 画

回	時間	項 目	内 容
1	2	理容技術を学ぶにあたって	理容技術理論を学ぶにあたって
2	2	理容技術の基礎	姿勢・トレーニング
3	2	理容用具	理容と用具・理容用具と衛生
4	2	理容用具	理容刃物・シザーズ
5	2	理容用具	レザー・クリッパー
6	2	理容用具	コーム・ブラシ
7	2	理容用具	ヘアアイロン・ヘアドライヤー
8	2	ヘアデザイン	ヘアスタイリングとデザイン
9	2	ヘアデザイン	ヘアスタイル
10	2	ヘアカッティング	ヘアカッティングを学ぶにあたって、観測法
11	2	ヘアカッティング	ヘアカッティングの基本原則
12	2	ヘアカッティング	ヘアカッティングの一般的手順
13	2	ヘアカッティング	スタンダードヘアの概要①
14	2	ヘアカッティング	スタンダードヘアの概要②
15	2	ヘアカッティング	スタンダードヘアの用具の持ち方と操作
16	2	ヘアカッティング	スタンダードヘアのカット技法①
17	2	ヘアカッティング	スタンダードヘアのカット技法②
18	2	ヘアカッティング	スタンダードヘアのスタイル別カットシステム①
19	2	ヘアカッティング	スタンダードヘアのスタイル別カットシステム②
20	2	ヘアカッティング	デザインヘア
21	2	ヘアカッティング	デザインヘアのスタイル別カットシステム①
22	2	ヘアカッティング	デザインヘアのスタイル別カットシステム②
23	2	ヘアカッティング	デザインヘアカットの一例
24	2	ヘアセッティング	ヘアセッティングを学ぶにあたって 種類
25	2	ヘアセッティング	ヘアセッティングの実際
26	2	ヘアセッティング	レディースヘアのスタイリング
27	2	パーマメントセット	パーマントウェービング ワインディング①
28	2	パーマメントセット	ワインディング②
29	2	パーマメントセット	コールド二浴式パーマントウェーブの一例

30	2	パーマメントセット	アイアニング①
31	2	パーマメントセット	アイアニング② 形状記憶デジタルパーマ
32	2	ヘアカラーリング	ヘアカラーリングの歴史 色彩の原理
33	2	ヘアカラーリング	染毛剤の種類と原理
34	2	ヘアカラーリング	染毛剤の安全性と取扱い上の注意
35	2	ヘアカラーリング	ヘアカラーリング技術のプロセス
36	2	ヘアカラーリング	ヘアカラーリングの一例
37	2	ま と め	テキストIの復習・テスト

授 業 科 目	運営管理			学科・学年	理容科 1年
開 講 期	通年	単位数	0.5	担当者名	熊谷 史子
授 業 の 概 要	美容業に必要な経営、マネジメントの基本的な知識を学ぶ。				
教 育 目 標 (ねらい)	美容師国家試験合格レベルの知識習得。				
評 価 方 法	期末試験と授業への関心態度を評価する。 期末考査60%、提出物の評価、授業への関心態度40%とし、100点満点に換算し、60点以上で合格とする。				
授 業 計 画					
回	時間	項 目	内 容		
1	2	経 営 者 の 視 点	経営とは・経営者とは		
2	2	理 容 業 美 容 業 の 経 営 に つ い て	業界の概念、競争の変化、サービスとしての理美容顧客		
3	2	資 金 の 管 理	収支と損益、会計の考え方、コスト管理、税金		
4	2	人 という 資 源	人という資源とは、人の能力を高める 人をやる気にさせるために		
5	2	人 という 資 源	給与、待遇福利厚生		
6	2	人 という 資 源	労働者の権利		
7	2	健 康 ・ 安 全 な 職 場 環 境 の 実 現	健康管理の基礎 理容・美容の仕事と健康		
8	1	期 末 考 査	前期・後期各1時間		

次年度15時間履修予定

授 業 科 目	理容実習			学科・学年	理容科 1年
開 講 期	通年	単位数	15	担当者名	金野夏奈 川村重夫（実務経験）
授 業 の 概 要	理容の基礎的技術を実習で学び、美や造形感覚も養う。				
教 育 目 標 （ねらい）	理容師に必要な技術を身につける。国家試験に合格レベルの実技課題を身につける。				
評 価 方 法	実技テストと授業への関心度、課題提出を評価する。 実技テスト50%、授業への関心度30%、課題提出20%とし、100点満点に換算し、60点以上で合格とする				

## 授 業 計 画

月	シャンプー	カット	シェービング及び顔面処置	ワインディング	専科	その他	備考
4		○		○			
5	○	○	○	○	○		
6	○	○	○	○	○	○	理容マッサージ
7	○	○	○	○	○	○	ヘアデザイン カラーリング
8	○	○	○	○	○		
9	○	○	○	○	○	○	ヘアデザイン カラーリング
10	○	○	○	○	○	○	理容マッサージ
11	○	○	○	○	○	○	ヘアセットイング 理容マッサージ
12	○	○	○	○	○	○	理容マッサージ
1	○	○	○	○		○	ハンドケア 理容マッサージ
2	○	○	○	○		○	ヘアセットイング 理容マッサージ
3		○	○				
合計時数	80	80	70	120	40	60	

授 業 科 目	一般教養	デッサン	学科・学年	理容科	1年
開 講 期	前期または後期	単位数	1	担当者名	大塚 敬（実務経験）
授 業 の 概 要	主に人物をモチーフにし、デッサンする能力を身に付けさせる				
教 育 目 標 (ねらい)	1.観察する能力、描く能力を身につける。 2.イメージする能力と自身の感性の幅を広げ、磨くことを通してデッサンの基礎を身につける。				
評 価 方 法	授業への関心態度、作品の内容、提出物(クロッキー帳、小テスト)を評価する 授業への関心態度、50% 作品の内容30%、提出物20%とし、100点満点に換算し、60点以上で合格とする。				
授 業 計 画					
回	時間	項 目	内 容		
1	3	デ ッ サ ン (1)	デッサンについて 鉛筆での表現、基礎		
2	3	デ ッ サ ン (2)	人物を描く 頭部、顔の各部の形状について	今年度コンテスト作品	
3	3	デ ッ サ ン (3)	人物を描く 頭部、顔の各部の形状について		
4	3	デ ッ サ ン (4)	人物を描く 頭部、顔の各部の形状について		
5	3	デ ッ サ ン (5)	人物を描く 頭部、顔の各部の形状について	形と色の関連性	
6	3	デ ッ サ ン (6)	人物を描く 頭部、顔の各部の形状について	形と色の関連性	
7	3	デ ッ サ ン (7)	人物を描く 頭部、顔の各部の形状について	イラストボード作品 制作	
8	3	デ ッ サ ン (8)	人物を描く 頭部、顔の各部の形状について	イラストボード作品 制作	
9	3	デ ッ サ ン (9)	人物を描く 頭部、顔の各部の形状について	イラストボード作品 制作	
10	3	デ ッ サ ン (10)	人物を描く 頭部、顔の各部の形状について	イラストボード作品 制作	

授 業 科 目	一般教養	パーソナルカラー	学科・学年	理容科	1年
開 講 期	前期または後期	単位数	1	担当者名	佐藤博美（実務経験）
授 業 の 概 要	美容師として色彩知識・パーソナルカラーが与える色の効果を学び活用法を身に付ける				
教 育 目 標 (ねらい)	パーソナルカラーの理論的な効果から肌の見え方・印象の変化を学び、顧客に求められる色の活用法を身に付ける。色彩技能パーソナルカラー検定合格レベルの知識を習得する。				
評 価 方 法	試験、授業・グループワークの取り組み、課題・提出物を評価する。 授業の関心態度40%、課題提出30%、試験30%とし、100点満点に換算し、60点以上で合格とする				

## 授 業 計 画

回	時間	項 目	内 容
1	3	パーソナルカラー概論	パーソナルカラーとは 色の見える条件
2	3	色 の 属 性	色のしくみとパーソナルカラーの要素① 肌に与える効果(ベース・明度)
3	3	色 の 属 性	色のしくみとパーソナルカラーの要素② 肌に与える効果(彩度・清濁)
4	3	基 本 の 配 色 法	カラーコーディネート 基本の配色と感情効果
5	3	パ ー ソ ナ ル カ ラ ー の 分 類	パーソナルカラー・4シーズン分類 色彩調和
6	3	基 礎 知 識	試験による基礎知識の確認
7	3	ま と め	パーソナルカラーのまとめ
8	3	色 の 活 用 法	パーソナルカラー・色彩効果の活用法①
9	3	色 の 活 用 法	パーソナルカラー・色彩効果の活用法②
10	3	作 品 制 作	パーソナルカラーを基にした課題作成・提出

授 業 科 目	一般教養	フラワーアレンジメント	学科・学年	理容科	1年
開 講 期	前期または後期	単位数	1	担当者名	佐藤 淳子
授 業 の 概 要	フラワーアレンジメントを通し、豊かな感性と知識を深める。理容と美容の類似点、共通点を見出し、専門的技術を身に付ける。				
教 育 目 標 (ねらい)	植物の知識を深める。基礎から応用、多岐にわたるテーマを通し芸術への探求心を深める。				
評 価 方 法	提出される作品の評価(毎時間)。授業態度・提出物。 毎作品の評価平均点60%、授業態20%、提出物20%、100点満点に換算し、60点以上で合格とする。				

## 授 業 計 画

回	時間	項 目	内 容
1	3	フラワーアレンジメントの概要	・フラワーアレンジメントの意味。授業の進め方。花材、道具取り扱い方法、注意点。①ラウンド(基礎)理論、説明。
2	3	実 技	②トライアングラー 花材説明(種類、産地、特徴) 図解説明
3	3	実 技	③ホリゾント ④母の日ラッピングアレンジ
4	3	実 技	⑤パラレル並行 ⑥交差 基礎から発展
5	3	実 技	⑦ラウンドブーケ ブライダルについて学ぶ。 ワイヤリング、テーピング、構成についてのテクニック。
6	3	実 技	⑧アメリカンスタイル ⑨ホビーアレンジ 構成違いのデザイン性、応用。
7	3	実 技	⑩ラウンドブーケ パーツ複合 ワイヤリング、テーピング+リボンワーク
8	3	実 技	⑪構造的 ⑫コラージュ テクスチャを学ぶ
9	3	実 技	⑬シーズンアレンジ 季節にちなんだフリーデザイン。
10	3	実 技	⑭フリースタイルブーケ 装飾について。 まとめ、自己評価、感想

授 業 科 目	一般教養	アートワーク	学科・学年	理容科	1年
開 講 期	前期または後期	単位数	1	担当者名	佐藤樹子
授 業 の 概 要	専門技術者としての発想力、創造力、表現力の体得				
教 育 目 標 (ねらい)	イメージし、造形するプロセスを通し、創造する楽しさ、自己表現の喜びを体感し、自身の感性と向き合う				
評 価 方 法	授業への関心態度、提出物（小テスト）を評価する。 授業への関心態度50%、作品内容30%、提出20%とし、100点満点に換算し、60点以上で合格とする				

## 授 業 計 画

回	時間	項 目	内 容
1	3	マスクアート①	創造力と想像力について 素材の特性と手法・デザイン構想
2	3	マスクアート②	作品制作
3	3	マスクアート③	作品制作
4	3	マスクアート④	まとめ
5	3	ヘアデザインアート①	造形要素の印象について 素材の特性と手法・デザイン構想
6	3	ヘアデザインアート②	作品制作
7	3	ヘアデザインアート③	作品制作
8	3	ヘアドレスアート①	作品制作
9	3	ヘアドレスアート②	作品制作
10	3	ヘアデザインアート ヘアドレスアート	まとめ

授 業 科 目	一般教養	3Dネイル	学科・学年	理容科	1年
開 講 期	前期または後期	単位数	1	担当者名	遠藤淳子（実務経験）
授 業 の 概 要	ネイルアートを身につける				
教 育 目 標 (ねらい)	立体的に見せる力と創造性を養う				
評 価 方 法	実技テストと授業への関心度、課題提出を評価する。 実技テスト50%、授業への関心度20%、課題提出30%とし、総合計60点以上で合格とする				

## 授 業 計 画

回	時間	項 目	内 容
1	3	3 D ア ー ト	アクリルパウダーを使い花を作る
2	3	フ ラ ッ ト ア ー ト	アクリル絵の具を用いてのアート
3	3	リ ペ ア 技 術	リペア・チップラップなど爪の補強技術 相モデル
4	3	リ ペ ア 技 術	リペア・チップラップなど爪の補強技術 相モデル
5	3	エ ン ボ ス ア ー ト	エンボスアート
6	3	3 D ア ー ト	動物製作
7	3	3 D ア ー ト	グラデーション・フレンチ技術
8	3	中 級 技 術	アート技術を組み合わせての作品製作
9	3	ま と め	アート技術を組み合わせての作品製作
10	3	ま と め	アート技術を組み合わせての作品製作

授 業 科 目	専門教育	カット I		学科・学年	理容科 1年
開 講 期	前期	単位数	4	担当者名	早坂精徳（実務経験） 川村重夫（実務経験）
授 業 の 概 要	学校の授業にある基本をベースに、少し応用を加えながらトレンドを意識したサロンスタイルを作り上げることで、理容の仕事の楽しさと可能性を感じてもらう。				
教 育 目 標 (ねらい)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・カットによるスタイルの技能を身につける。</li> <li>・コーミングの大切さを身につける。</li> <li>・個性や感性を活かし、自由にスタイリングできる技術を身につける。</li> </ul>				
評 価 方 法	1、作品の仕上がり評価（バランス、課題の表現ができているか等）50% 2、授業への取り組み評価（授業態度、取り組みの姿勢）50% 総合計60点以上で合格とする。				

## 授 業 計 画

回	時間	項 目	内 容
1	4	器具の使用 方法	器具の基本操作等。
2	4	基 本 姿 勢	カッティングにおける姿勢の大切さについて。実際。
3	4	デ ザ イ ン ヘ ア	カットの事前準備として、ブロッキング技術の実習。
4	4	デ ザ イ ン ヘ ア	ワンレングスカット①
5	4	デ ザ イ ン ヘ ア	ワンレングスカット②
6	4	デ ザ イ ン ヘ ア	ワンレングスカット③
7	4	デ ザ イ ン ヘ ア	インサイドグラデーション
8	4	デ ザ イ ン ヘ ア	ワンレングスカットの復習と反復。
9	4	デ ザ イ ン ヘ ア	アウトサイドグラデーションカット①
10	4	デ ザ イ ン ヘ ア	アウトサイドグラデーションカット②
11	4	デ ザ イ ン ヘ ア	スクエアカット①
12	4	デ ザ イ ン ヘ ア	スクエアカット②
13	4	スタンダードヘア	ミディアムヘア ① クリッパーの操作方法。
14	4	スタンダードヘア	ミディアムヘア ② クリッパーの操作方法。
15	4	デ ザ イ ン ヘ ア	ワンレングスカット 復習。
16	4	デ ザ イ ン ヘ ア	レイヤーカット①
17	4	デ ザ イ ン ヘ ア	サロンメンズスタイル(外部講師)①
18	4	デ ザ イ ン ヘ ア	サロンメンズスタイル(外部講師)②
19	4	デ ザ イ ン ヘ ア	レイヤーカット②
20	4	デ ザ イ ン ヘ ア	セიმレイヤーカット
21	4	スタンダードヘア	ミディアムヘア・ハーフロング①
22	4	スタンダードヘア	ミディアムヘア・ハーフロング②
23	4	デ ザ イ ン ヘ ア	全理連レディーススタイル(外部講師)①
24	4	デ ザ イ ン ヘ ア	全理連レディーススタイル(外部講師)②
25	4	スタンダードヘア	ミディアムヘア・ハーフロング③
26	4	デ ザ イ ン ヘ ア	サロンメンズスタイル ベリーショート(外部講師)
27	4	デ ザ イ ン ヘ ア	色々なカット技法と毛量調整
28	4	デ ザ イ ン ヘ ア	レザーカット等
29	4	デ ザ イ ン ヘ ア	オリジナルスタイルの創作と発表。①



授 業 科 目	専門教育 クリエイティブセット			学科・学年	理容科 1年
開 講 期	後期	単位数	4	担当者名	川村重夫（実務経験）
授 業 の 概 要	主にドライヤーを使用してのセットを中心にし、まとめ髪まで対応。				
教 育 目 標 (ねらい)	セットの基本となるスタイルを習得する。 総合的なクオリティを向上させ、トータル技術を身につける。				
評 価 方 法	1、作品の仕上がり評価（バランス、課題の表現ができているか等）50% 2、授業への取り組み評価（授業態度、取り組みの姿勢）50% 総合計60点以上で合格とする。				
授 業 計 画					
回	時間	項 目	内 容		
1	4	ドライヤーセット	セットに関する知識全般。		
2	4	ドライヤーセット	クラシカルバックスタイルを目標に、各セクションごとにトレーニング		
3	4	ドライヤーセット	後頭部～クラウンのボリュームの出し方		
4	4	ドライヤーセット	トップ～フロントのボリュームや、抑える技術の実習		
5	4	ドライヤーセット	ボリュームを出す技術の実習		
6	4	ドライヤーセット	サイドの毛流れの理解、コーナー部分のボリュームの出し方とつながり		
7	4	ドライヤーセット	各セクションの復習		
8	4	ドライヤーセット	全体を通してスタイルを作成		
9	4	ドライヤーセット	全体を通してスタイルを作成		
10	4	ドライヤーセット	タイムを定め、スタイルを作成		
11	4	ドライヤーセット	タイムを定め、スタイルを作成		
12	4	ワ ン レ ン グ ス	レディースウィッグを使用し、ブロートレーニング①		
13	4	ワ ン レ ン グ ス	レディースウィッグを使用し、ブロートレーニング②		
14	4	レ イ ヤ ー	レイヤースタイルをカットし、実際にセット①		
15	4	レ イ ヤ ー	ロールブラシを使用し、操作方法確認		
16	4	パーマメントセット	パーマメントウェーブを實際にかけ、スタイルを作成 レディース①		
17	4	パーマメントセット	パーマメントウェーブを實際にかけ、スタイルを作成 レディース②		
18	4	パーマメントセット	パーマメントウェーブを實際にかけ、スタイルを作成 メンズ①		
19	4	パーマメントセット	パーマメントウェーブを實際にかけ、スタイルを作成 メンズ②		
20	4	ま と め 髪	編み込み等を含め、数スタイルを学ぶ①		
21	4	ま と め 髪	編み込み等を含め、数スタイルを学ぶ②		
22	4	ま と め 髪	編み込み等を含め、数スタイルを学ぶ③		
23	4	ま と め 髪	編み込み等を含め、数スタイルを学ぶ④		
24	4	ヘアデザイン	カラーリングなど、デザインするために必要な知識①		
25	4	ヘアデザイン	カラーリングなど、デザインするために必要な知識②		
26	4	ヘアデザイン	自分でヘアデザインし、カット・セット技術を確認。ヘアカラーを含め、自分の創造力を高める		
27	4	ヘアデザイン	自分でヘアデザインし、カット・セット技術を確認。ヘアカラーを含め、自分の創造力を高める		
28	4	ヘアデザイン	自分でヘアデザインし、カット・セット技術を確認。ヘアカラーを含め、自分の創造力を高める		
29	4	ヘアデザイン	自分でヘアデザインし、カット・セット技術を確認。ヘアカラーを含め、自分の創造力を高める		
30	4	ヘアデザイン	自分でヘアデザインし、カット・セット技術を確認。ヘアカラーを含め、自分の創造力を高める		

授 業 科 目	専門教育	エステ	学科・学年	理容科	1年
開 講 期	後期	単位数	4	担当者名	岡田聡江
授 業 の 概 要	エステティックに関する基礎知識とエステティックの本質となる（ソワンエステ）について理解する				
教 育 目 標 (ねらい)	エステティシャンとして社会で働くうえで、基礎的な技術と心遣いを身につける				
評 価 方 法	実技テストと授業への関心度、課題提出を評価する。 実技テスト50%、授業への関心度30%、課題提出20%とし、100点満点に換算し、60点以上で合格とする				

## 授 業 計 画

回	時間	項 目	内 容
1	4	chapter 1. 2	エステティックとは・生命活動とホメオスタシス
2	4	chapter 3	身体のしくみと働きⅠ
3	4	chapter 4. 5	身体のしくみと働きⅡ・皮膚の仕組みと働きⅠ①
4	4	chapter 6	皮膚のしくみと働きⅠ②
5	4	chapter 7. 8	エステティックとカウンセリング・化粧の種類と働き
6	4	chapter 9. 10	栄養の知識・エステティックにおける衛生と消毒
7	4	chapter 11. 12	エステティックの基礎知識・ボディエステティックの基礎知識
8	4	chapter 13. エステ機器	フェイシャルエステティックの基礎知識・機器の取り扱い事前準備
9	4	フェイシャルトリートメント	クレンジング・フリマトール・ウットランプ・アロミスト・ヴァックススプレー①
10	4	フェイシャルトリートメント	クレンジング・フリマトール・ウットランプ・アロミスト・ヴァックススプレー②
11	4	フェイシャルトリートメント	フリマトール・アロミスト・ヴァックススプレー・バター・仕上げ①
12	4	フェイシャルトリートメント	フリマトール・アロミスト・ヴァックススプレー・バター・仕上げ②
13	4	フェイシャルトリートメント	クレンジング・アロミスト・アイオノス・パック・仕上げ①
14	4	フェイシャルトリートメント	クレンジング・アロミスト・アイオノス・パック・仕上げ②
15	4	フェイシャルトリートメント	クレンジング・バター・パック・ペルチェ・仕上げ①
16	4	フェイシャルトリートメント	クレンジング・バター・パック・ペルチェ・仕上げ②
17	4	フェイシャルトリートメント	カルテ記入・カウンセリング・フェイシャルトリートメント①
18	4	フェイシャルトリートメント	カルテ記入・カウンセリング・フェイシャルトリートメント②
19	4	フェイシャルトリートメント	クレンジング・フェイシャルマッサージ・パック・仕上げ①
20	4	フェイシャルトリートメント	クレンジング・フェイシャルマッサージ・パック・仕上げ②
21	4	フェイシャルトリートメント	クレンジング・フェイシャルマッサージ・パック・仕上げ③
22	4	フェイシャルトリートメント	肌別フェイシャルトリートメント・普通肌
23	4	フェイシャルトリートメント	肌別フェイシャルトリートメント・乾燥肌
24	4	フェイシャルトリートメント	肌別フェイシャルトリートメント・シミ肌
25	4	フェイシャルトリートメント	肌別フェイシャルトリートメント・敏感肌
26	4	フェイシャルトリートメント	肌別フェイシャルトリートメント・脂性肌
27	4	フェイシャルトリートメント	肌別フェイシャルトリートメント・ニキビ肌
28	4	フェイシャルトリートメント	ボディマッサージ
29	4	フェイシャルトリートメント	ボディマッサージ
30	4	フェイシャルトリートメント	ボディトリートメント

授 業 科 目	関係法規			学科・学年	美容科 1年
開 講 期	通年	単位数	0.5	担当者名	熊谷 史子
授 業 の 概 要	理・美容師に必要な関係法規・制度を学ぶ。				
教 育 目 標 (ねらい)	理・美容師国家試験合格レベルの知識習得。				
評 価 方 法	期末試験と授業への関心態度を評価する。 期末考査60%、提出物の評価、授業への関心態度40%とし、100点満点に換算し、60点以上で合格とする。				
授 業 計 画					
回	時間	項 目	内 容		
1	2	法 制 度 の 概 要	社会生活における法の役割、法の形式 衛生法規の概要、理容師法・美容師法と附属法令		
2	2	衛 生 行 政 の 概 要	衛生行政の意義と歴史、分類と生活衛生行政の内容		
3	2	理容師法・美容師法①	目的、用語の定義		
4	2	理容師法・美容師法②	人（理容師・美容師）に関する規定（1）		
5	2	理容師法・美容師法③	人（理容師・美容師）に関する規定（2）		
6	2	理容師法・美容師法④	人（理容師・美容師）に関する規定（3）		
7	2	ま と め と 復 習 ①			
8	2	期 末 考 査	後期1時間		

次年度15時間履修予定

授 業 科 目	衛生管理			学科・学年	美容科 1年
開 講 期	通年	単位数	1.5	担当者名	高橋 まり
授 業 の 概 要	美容師にとって欠かすことのできない衛生関係の知識を、公衆衛生、環境衛生、感染症、衛生管理技術（消毒法）に分けて学ぶ。				
教 育 目 標 (ねらい)	1. 美容師国家試験合格のための知識習得 2. 公衆衛生・環境衛生の意義と美容業との関わりを認識する。 3. 美容所で起こりうる感染症に対して、適切な対処方法を身につける。				
評 価 方 法	期末試験と授業への関心態度、提出物（ノート、小テスト）を評価する。 期末考査60%,授業への関心態度20%、提出物20%とし、100点満点に換算し、60点以上で合格とする。				

## 授 業 計 画

回	時間	項 目	内 容
1	2	公衆衛生の概要（1）	公衆衛生の意義と課題 公衆衛生発展の歴史
2	2	公衆衛生の概要（2）	理容師・美容師と公衆衛生 保健所と理容業・美容業
3	2	保 健 （ 1 ）	母子保健
4	2	保 健 （ 2 ）	成人・高齢者保健①
5	2	保 健 （ 3 ）	成人・高齢者保健②
6	2	保 健 （ 4 ）	成人・高齢者保健③・精神保健 練習問題
7	2	環 境 衛 生 （ 1 ）	環境衛生の概要
8	2	環 境 衛 生 （ 2 ）	空気環境
9	2	環 境 衛 生 （ 3 ）	衣服・住居の衛生
10	2	環 境 衛 生 （ 4 ）	上・下水道と廃棄物 練習問題
11	2	環 境 衛 生 （ 5 ）	衛生害虫とネズミ 環境保全
12	2	感染症の総論（1）	感染症発見の歴史 感染症と法律
13	2	感染症の総論（2）	感染症の分類 練習問題
14	2	感染症の総論（3）	病原微生物①
15	2	感染症の総論（4）	病原微生物② 練習問題

16	2	感染症の総論（5）	感染症の予防①
17	2	感染症の総論（6）	感染症の予防②
18	2	感染症の総論（7）	感染症の予防③ 練習問題
19	2	感染症の各論（1）	主な感染症①
20	2	感染症の各論（2）	主な感染症②
21	2	感染症の各論（3）	主な感染症③
22	2	期 末 考 査	前期・後期各1時間

授 業 科 目	保健			学科・学年	美容科 1年
開 講 期	通年	単位数	1	担当者名	千葉啓子
授 業 の 概 要	基礎的な人体の構造（仕組み）について学習する。頭頸部を中心に解剖学を、人体を理解するために骨角器系、筋系、神経系、感覚器系、血液・循環器系、呼吸器系、消化器系に分けて学習する。小テストや過去問を国家試験対策として練習する。				
教 育 目 標 (ねらい)	人体の構造、機能に関する科学的、系統的知識並びに、現場で役立つ知識を知ること为目标とする。国家試験合格を目指す。				
評 価 方 法	期末試験と提出物（ノート、小テスト）、授業態度を評価する。 期末考査60%、授業への関心度20%、課題提出20%とし100点満点に換算し、60点以上で合格とする。				

## 授 業 計 画

回	時間	項 目	内 容
1	2	頭部、顔部、頸部の 体表解剖学①	人体各部の名称 頭部、顔部、頸部の体表解剖学①
2	2	頭部、顔部、頸部の 体表解剖学②	頭部、顔部、頸部の体表解剖学②
3	2	骨 格 器 系 ①	骨の種類と構造・骨の連結・骨角器系とそのはたらき
4	2	骨 格 器 系 ②	骨の種類と構造・骨の連結・骨角器系とそのはたらき
5	2	筋 系 ①	筋の種類とその特徴・主な骨格筋とそのはたらき
6	2	筋 系 ②	表情筋と表情運動・理容・美容の作業と筋疲労
7	2	神 経 系	神経系の成り立ち・中枢神経・末梢神経とそのはたらき
8	2	感 覚 器 系 ①	視覚・聴覚・平衡感覚
9	2	感 覚 器 系 ②	味覚・嗅覚、皮膚感覚
10	2	血 液 ・ 循 環 器 系 ①	血液のあらまし・血液循環の仕組み・血液の循環経路
11	2	血 液 ・ 循 環 器 系 ②	心臓と血管の働き・リンパ管系の仕組みと働き
12	2	呼 吸 器 系 ①	呼吸器のあらまし・気道
13	2	呼 吸 器 系 ②	肺の仕組みとガス交換・呼吸運動
14	2	消 化 器 系 ①	消化器系のあらまし・消化管の仕組み
15	2	消 化 器 系 ②	消化管の働き・消化と物質代謝

16	2	ま と め と 復 習	小テストと復習
17	2	ま と め と 復 習	小テストと復習
18	2	ま と め と 復 習	小テストと復習
19	2	ま と め と 復 習	小テストと復習
20	2	ま と め と 復 習	小テストと復習
21	2	期 末 考 査	前期・後期1時間

授 業 科 目	化粧品化学			学科・学年	美容科 1年
開 講 期	通年	単位数	1	担当者名	横橋 健
授 業 の 概 要	美容師として極めて重要な意義をもつ「化粧品化学の基本原理の理解と応用能力」を身に付けさせる。				
教 育 目 標 (ねらい)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・美容師国家試験合格レベルの知識習得</li> <li>・化粧品の基本知識を習得し、その機序・危険性について認識する。</li> <li>・化粧品化学の知識・理解を深め美容の専門家への道を拓く。</li> </ul>				
評 価 方 法	期末試験と授業への関心態度、提出物（小テスト）を評価する。 期末考査60%、授業への関心態度20%、提出物20%とし、60点以上で合格とする。				

## 授 業 計 画

回	時間	項 目	内 容
1	2	化粧品概論（1）	社会的意義と品質特性 化粧品の規制
2	2	化粧品概論（2）	化粧品の安定性と取り扱い上の注意 化粧品と安全性
3	2	化粧品原料（1）	化粧品の対象となる人体各部の性状
4	2	化粧品原料（2）	水性原料①
5	2	化粧品原料（3）	水性原料②
6	2	化粧品原料（4）	油性原料
7	2	化粧品原料（5）	界面活性剤①
8	2	化粧品原料（6）	界面活性剤②
9	2	化粧品原料（7）	高分子化合物
10	2	化粧品原料（8）	色材①
11	2	化粧品原料（9）	色材②
12	2	化粧品原料（10）	香料
13	2	化粧品原料（11）	その他の配合成分
14	2	化粧品原料（12）	ネイル、まつ毛エクステンション用材
15	1	期 末 考 査	後期1時間

授 業 科 目	文化論			学科・学年	美容科 1年
開 講 期	通年	単位数	1	担当者名	北野史
授 業 の 概 要	美容師として必要な西洋と日本の美容の歴史を文化的な視点から学ぶ				
教 育 目 標 (ねらい)	美容師として必要な文化的背景と知識を習得する 国家試験合格レベルの知識を習得する				
評 価 方 法	毎回單元ごとのプリントを配布し、授業内容の確認と学びの進行状況の手掛かりとする。 また、授業中の取り組み状況の確認として、プリントを集め達成度を確認をし、期末考査50%、プリント達成度30%、授業の関心度20%とし、100点満点に換算し60点以上で合格と				
授 業 計 画					
回	時間	項 目	内 容		
1	2	総 論	総論		
2	2	日 本 の 理 容 業 美 容 業 の 歴 史	理容業・美容業の発生 江戸時代の理容業・美容業		
3	2	日 本 の 理 容 業 美 容 業 の 歴 史	近代の理容業・美容業 現代の理容業・美容業		
4	2	フ ァ ッ シ ョ ン 文 化 史 日 本 編	縄文・弥生・古墳時代		
5	2	フ ァ ッ シ ョ ン 文 化 史 日 本 編	古代（飛鳥・奈良・平安時代）		
6	2	フ ァ ッ シ ョ ン 文 化 史 日 本 編	中世（平安末・鎌倉・室町・戦国時代）		
7	2	フ ァ ッ シ ョ ン 文 化 史 日 本 編	近世Ⅰ（戦国末・安土桃山時代）		
8	2	フ ァ ッ シ ョ ン 文 化 史 日 本 編	近世Ⅱ（江戸時代）		
9	2	フ ァ ッ シ ョ ン 文 化 史 日 本 編	近世Ⅱ（江戸時代）		
10	2	フ ァ ッ シ ョ ン 文 化 史 日 本 編	近世Ⅱ（江戸時代）		
11	2	フ ァ ッ シ ョ ン 文 化 史 日 本 編	近代（明治・大正・昭和）		
12	2	フ ァ ッ シ ョ ン 文 化 史 日 本 編	近代（明治・大正・昭和）		
13	2	フ ァ ッ シ ョ ン 文 化 史 日 本 編	近代（明治・大正・昭和）		
14	2	フ ァ ッ シ ョ ン 文 化 史 日 本 編	現代Ⅰ		
15	2	期 末 考 査	前期・後期各1時間		

授 業 科 目	美容理論			学科・学年	美容科 1年
開 講 期	通年	単位数	2.5	担当者名	鈴木久美子（実務経験） 菊地恵美（実務経験）
授 業 の 概 要	美容の意義を十分に理解し、美容師としての基礎知識を学ぶ。				
教 育 目 標 (ねらい)	美容師に必要な理論を身につけ、国家試験合格レベルの理論と知識を習得する				
評 価 方 法	期末考査、授業への関心度、課題提出を評価する。 期末考査50%、授業への関心度20%、課題提出30%とし、100点満点に換算し、60点以上で合格とする				

## 授 業 計 画

回	時間	項 目	内 容
1	2	美容技術理論を学ぶにあたって	美容理論と技術 美容技術における作業姿勢
2	2	美容技術理論を学ぶにあたって	美容技術に必要な人体各部の名称
3	2	美 容 用 具	美容技術における用具
4	2	美 容 用 具	美容技術における道具
5	2	美 容 用 具	美容技術における器具・機械
6	2	シャンプーイング	シャンプーイング総論
7	2	シャンプーイング	サイドシャンプー バックシャンプー
8	2	シャンプーイング	リンス・コンディショナー・トリートメント
9	2	シャンプーイング	スカルプトリートメント・ヘッドスパ
10	2	シャンプーイング	サイドシャンプー マニュアル作成
11	2	シャンプーイング	サイドシャンプー マニュアル作成
12	2	シャンプーイング	サイドシャンプー マニュアル作成
13	2	ヘアカッティング	ヘアカッティングとは 美容刃物
14	2	ヘアカッティング	ヘアカッティングの正しい姿勢 ブロッキング
15	2	ヘアカッティング	ヘアカッティングの基礎理論 ベーシックなカット技法
16	2	ヘアカッティング	シザーズ・レザーによるカット技法
17	2	パーマメントウェーブ	パーマメントウェーブの歴史と現在
18	2	パーマメントウェーブ	パーマメントウェーブの理論
19	2	パーマメントウェーブ	パーマ剤の分類・注意事項
20	2	パーマメントウェーブ	パーマメントウェーブ技術
21	2	パーマメントウェーブ	ワインディング（国家試験）マニュアル作成
22	2	パーマメントウェーブ	ワインディング（国家試験）マニュアル作成
23	2	パーマメントウェーブ	ワインディング（国家試験）マニュアル作成
24	2	ヘアデザイン	美容とデザイン
25	2	ヘアデザイン	デザインの要素
26	2	ヘアデザイン	デザインの原理
27	2	ヘアカラーリング	ヘアカラーリング概論・種類・タイプ別特徴・色の基本
28	2	ヘアカラーリング	染毛のメカニズム・毛髪のレベルとアンダーローン
29	2	ヘアカラーリング	パッチテスト・注意事項・ヘアブリーチ・各技術の一例

30	2	メ イ ク ア ッ プ	メイクアップ概論
31	2	メ イ ク ア ッ プ	メイクアップと色彩 メイクアップの道具
32	2	メ イ ク ア ッ プ	スキンケア ベースメイクアップ
33	2	メ イ ク ア ッ プ	ポイントメイクアップ
34	2	メ イ ク ア ッ プ	まつ毛エクステンションにおける衛生及び保健
35	2	メ イ ク ア ッ プ	まつ毛エクステンションにおけるカウンセリング
36	2	メ イ ク ア ッ プ	まつ毛エクステンションの道具及び技術の一例
37	2	ま と め	美容理論1年次の総復習・小テスト
38	2	期 末 考 査	前期期末試験・後期期末試験 各1時間

授 業 科 目	運営管理			学科・学年	美容科 1年
開 講 期	通年	単位数	0.5	担当者名	熊谷 史子
授 業 の 概 要	美容業に必要な経営、マネジメントの基本的な知識を学ぶ。				
教 育 目 標 (ねらい)	美容師国家試験合格レベルの知識習得。				
評 価 方 法	期末試験と授業への関心態度を評価する。 期末考査60%、提出物の評価、授業への関心態度40%とし、100点満点に換算し、60点以上で合格とする。				
授 業 計 画					
回	時間	項 目	内 容		
1	2	経 営 者 の 視 点	経営とは・経営者とは		
2	2	理 容 業 美 容 業 の 経 営 に つ い て	業界の概念、競争の変化、サービスとしての理美容顧客		
3	2	資 金 の 管 理	収支と損益、会計の考え方、コスト管理、税金		
4	2	人 と い う 資 源	人という資源とは、人の能力を高める 人をやる気にさせるために		
5	2	人 と い う 資 源	給与、待遇福利厚生		
6	2	人 と い う 資 源	労働者の権利		
7	2	健 康 ・ 安 全 な 職 場 環 境 の 実 現	健康管理の基礎 理容・美容の仕事と健康		
8	1	期 末 考 査	前期・後期各1時間		

次年度15時間履修予定

授 業 科 目	美容実習			学科・学年	美容科 1年
開 講 期	通年	単位数	15	担当者名	鈴木久美子（実務経験） 菊地恵美（実務経験）
授 業 の 概 要	美容の基礎的技術を実習で学び、実技の奥深さを知る				
教 育 目 標 (ねらい)	美容師に必要な実技と、国家試験に必要な実技課題を身につける				
評 価 方 法	実技テストと授業への関心度、課題提出を評価する。 実技テスト60%、授業への関心度20%、課題提出20%とし、100点満点に換算し、60点以上で合格とする				

## 授 業 計 画

月	シャンプー	カット	ワインディング	専科	その他	備考
4	○	○	○			
5	○	○	○	○		
6	○	○	○	○		
7	○	○	○	○		
8	○	○	○	○		
9	○	○	○	○		
10	○	○	○	○	○	まつ毛エクステ
11	○	○	○	○	○	まつ毛エクステ
12	○	○	○	○	○	カラーリング
1	○	○	○		○	
2	○	○	○		○	ヘアデザイン
3		○	○			
合計時数	90	110	180	40	30	

授 業 科 目	一般教養	デッサン	学科・学年	美容科	1年
開 講 期	前期または後期	単位数	1	担当者名	大塚 敬（実務経験）
授 業 の 概 要	主に人物をモチーフにし、デッサンする能力を身に付けさせる				
教 育 目 標 (ねらい)	1.観察する能力、描く能力を身につける。 2.イメージする能力と自身の感性の幅を広げ、磨くことを通してデッサンの基礎を身につける。				
評 価 方 法	授業への関心態度、作品の内容、提出物(クロッキー帳、小テスト)を評価する 授業への関心態度、50% 作品の内容30%、提出物20%とし、100点満点に換算し、60点以上で合格とする。				
授 業 計 画					
回	時間	項 目	内 容		
1	3	デ ッ サ ン (1)	デッサンについて 鉛筆での表現、基礎		
2	3	デ ッ サ ン (2)	人物を描く 頭部、顔の各部の形状について		
3	3	デ ッ サ ン (3)	人物を描く 頭部、顔の各部の形状について		
4	3	デ ッ サ ン (4)	人物を描く 頭部、顔の各部の形状について		
5	3	デ ッ サ ン (5)	人物を描く 頭部、顔の各部の形状について 形と色の関連性		
6	3	デ ッ サ ン (6)	人物を描く 頭部、顔の各部の形状について 形と色の関連性		
7	3	デ ッ サ ン (7)	人物を描く 頭部、顔の各部の形状について イラストボード作品 制作		
8	3	デ ッ サ ン (8)	人物を描く 頭部、顔の各部の形状について イラストボード作品 制作		
9	3	デ ッ サ ン (9)	人物を描く 頭部、顔の各部の形状について イラストボード作品 制作		
10	3	デ ッ サ ン (10)	人物を描く 頭部、顔の各部の形状について イラストボード作品 制作		

授 業 科 目	一般教養	パーソナルカラー	学科・学年	美容科	1年
開 講 期	前期または後期	単位数	1	担当者名	佐藤博美（実務経験）
授 業 の 概 要	美容師として色彩知識・パーソナルカラーが与える色の効果を学び活用法を身に付ける				
教 育 目 標 (ねらい)	パーソナルカラーの理論的な効果から肌の見え方・印象の変化を学び、顧客に求められる色の活用法を身に付ける。色彩技能パーソナルカラー検定合格レベルの知識を習得する。				
評 価 方 法	試験、授業・グループワークの取り組み、課題・提出物を評価する。 授業の関心態度40%、課題提出30%、試験30%とし、100点満点に換算し、60点以上で合格とする				

## 授 業 計 画

回	時間	項 目	内 容
1	3	パーソナルカラー概論	パーソナルカラーとは 色の見える条件
2	3	色 の 属 性	色のしくみとパーソナルカラーの要素① 肌に与える効果(ベース・明度)
3	3	色 の 属 性	色のしくみとパーソナルカラーの要素② 肌に与える効果(彩度・清濁)
4	3	基 本 の 配 色 法	カラーコーディネート 基本の配色と感情効果
5	3	パーソナルカラーの分類	パーソナルカラー・4シーズン分類 色彩調和
6	3	基 礎 知 識	試験による基礎知識の確認
7	3	ま と め	パーソナルカラーのまとめ
8	3	色 の 活 用 法	パーソナルカラー・色彩効果の活用法①
9	3	色 の 活 用 法	パーソナルカラー・色彩効果の活用法②
10	3	作 品 制 作	パーソナルカラーを基にした課題作成・提出

授 業 科 目	一般教養	フラワーアレンジメント	学科・学年	美容科	1年
開 講 期	前期または後期	単位数	1	担当者名	佐藤 淳子
授 業 の 概 要	フラワーアレンジメントを通し、豊かな感性と知識を深める。理容と美容の類似点、共通点を見出し、専門的技術を身に付ける。				
教 育 目 標 (ねらい)	植物の知識を深める。基礎から応用、多岐にわたるテーマを通し芸術への探求心を深める。				
評 価 方 法	提出される作品の評価(毎時間)。授業態度・提出物。 毎作品の評価平均点60%、授業態20%、提出物20%、100点満点に換算し、60点以上で合格とする。				

## 授 業 計 画

回	時間	項 目	内 容
1	3	フラワーアレンジメントの概要	・フラワーアレンジメントの意味。授業の進め方。花材、道具取り扱い方法、注意点。①ラウンド(基礎)理論、説明。
2	3	実 技	②トライアングラー 花材説明(種類、産地、特徴) 図解説明
3	3	実 技	③ホリゾント ④母の日ラッピングアレンジ
4	3	実 技	⑤パラレル並行 ⑥交差 基礎から発展
5	3	実 技	⑦ラウンドブーケ ブライダルについて学ぶ。 ワイヤリング、テーピング、構成についてのテクニック。
6	3	実 技	⑧アメリカンスタイル ⑨ホビーアレンジ 構成違いのデザイン性、応用。
7	3	実 技	⑩ラウンドブーケ パーツ複合 ワイヤリング、テーピング+リボンワーク
8	3	実 技	⑪構造的 ⑫コラージュ テクスチャを学ぶ
9	3	実 技	⑬シーズンアレンジ 季節にちなんだフリーデザイン。
10	3	実 技	⑭フリースタイルブーケ 装飾について。 まとめ、自己評価、感想

授 業 科 目	一般教養	アートワーク	学科・学年	美容科	1年
開 講 期	前期または後期	単位数	1	担当者名	佐藤樹子
授 業 の 概 要	専門技術者としての発想力、創造力、表現力の体得				
教 育 目 標 (ねらい)	イメージし、造形するプロセスを通し、創造する楽しさ、自己表現の喜びを体感し、自身の感性と向き合う				
評 価 方 法	授業への関心態度、提出物（小テスト）を評価する。 授業への関心態度50%、作品内容30%、提出20%とし、100点満点に換算し、60点以上で合格とする				

## 授 業 計 画

回	時間	項 目	内 容
1	3	マスクアート①	創造力と想像力について 素材の特性と手法・デザイン構想
2	3	マスクアート②	作品制作
3	3	マスクアート③	作品制作
4	3	マスクアート④	まとめ
5	3	ヘアデザインアート①	造形要素の印象について 素材の特性と手法・デザイン構想
6	3	ヘアデザインアート②	作品制作
7	3	ヘアデザインアート③	作品制作
8	3	ヘアドレスアート①	作品制作
9	3	ヘアドレスアート②	作品制作
10	3	ヘアデザインアート ヘアドレスアート	まとめ

授 業 科 目	一般教養	3Dネイル	学科・学年	美容科	1年
開 講 期	前期または後期	単位数	1	担当者名	遠藤淳子（実務経験）
授 業 の 概 要	ネイルアートを身につける				
教 育 目 標 (ねらい)	立体的に見せる力と創造性を養う				
評 価 方 法	実技テストと授業への関心度、課題提出を評価する。 実技テスト50%、授業への関心度20%、課題提出30%とし、総合計60点以上で合格とする				

## 授 業 計 画

回	時間	項 目	内 容
1	3	3 D ア ー ト	アクリルパウダーを使い花を作る
2	3	フ ラ ッ ト ア ー ト	アクリル絵の具を用いてのアート
3	3	リ ペ ア 技 術	リペア・チップラップなど爪の補強技術 相モデル
4	3	リ ペ ア 技 術	リペア・チップラップなど爪の補強技術 相モデル
5	3	エ ン ボ ス ア ー ト	エンボスアート
6	3	3 D ア ー ト	動物製作
7	3	3 D ア ー ト	グラデーション・フレンチ技術
8	3	中 級 技 術	アート技術を組み合わせての作品製作
9	3	ま と め	アート技術を組み合わせての作品製作
10	3	ま と め	アート技術を組み合わせての作品製作

授 業 科 目	専門教育	着付け		学科・学年	美容科 1年
開 講 期	前期または後期	単位数	4	担当者名	生島雅世子（実務経験） 丹野 益美（実務経験） 鈴木久美子（実務経験）
授 業 の 概 要	美容師として必要な着付けの理論および着付け技術、礼儀作法、立ち居振る舞い等を学ぶ。				
教 育 目 標 (ねらい)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・着付け技術と着付け理論を習得する。※希望者はSBS技能検定3級取得を目指す。</li> <li>・浴衣、留袖（二重太鼓）、中振袖（ふくら雀・文庫・立矢）、女子袴の着付けを習得する。</li> <li>・花嫁衣裳（掛下・打掛）の着付けを体験する。</li> </ul>				
評 価 方 法	実技テストおよび筆記テスト、授業への関心度、課題提出を評価する。 実技テスト60%、授業への関心度20%、課題提出20%とし、100点満点に換算し、60点以上で合格とする。				

## 授 業 計 画

回	時間	項 目	内 容
1	4	着付け総論（理論）	着物および着付けについての基礎的知識の講義
2	4	着付け総論（理論）	SBSテキスト・美容技術理論2・美容実習2で講義
3	4	着付け総論（理論）	SBSテキスト・美容技術理論2・美容実習2で講義
4	4	浴 衣	補整作り、浴衣の畳み方、小物の名称、浴衣・帯・小物の準備の仕方
5	4	浴 衣	体型補整、肌襦袢・浴衣の着付け、伊達締めの締め方、帯（文庫）の結び方
6	4	浴 衣	体型補整、肌襦袢・浴衣の着付け、伊達締めの締め方、帯（文庫）の結び方
7	4	浴 衣	体型補整、肌襦袢・浴衣の着付け、伊達締めの締め方、帯（文庫）の結び方
8	4	浴 衣	浴衣着付け 試験通りに練習（全体のバランスや審査項目のチェック）
9	4	留 袖	留袖の畳み方、体型補整、長襦袢の着付け、留袖の着付け、伊達締めの締め方
10	4	留 袖	留袖の畳み方、体型補整、長襦袢の着付け、留袖の着付け、伊達締めの締め方
11	4	留 袖	留袖の着付け、帯結び（二重太鼓）、帯締め、帯揚げの締め方
12	4	留 袖	留袖の着付け、二重太鼓、全体のバランス
13	4	留 袖	留袖の着付け、二重太鼓、全体のバランス
14	4	留 袖	留袖の着付け、二重太鼓、全体のバランス
15	4	留 袖	留袖の着付け技術総復習、着付け技術についてのチェックテスト
16	4	留 袖 実 技 テ ス ト	留袖実技テスト30分 全体のバランスチェック（襟・裾合わせ・体型とお太鼓の調和）
17	4	中 振 袖	中振袖の畳み方、体型補整、長襦袢の着付け、中振袖の着付け
18	4	中 振 袖	体型補整、長襦袢の着付け、中振袖の着付け、伊達締めの締め方、ふくら雀
19	4	浴 衣	浴衣着付け総復習、試験通りに練習・筆記テスト
20	4	SBS技能検定3級試験	学科試験30分、実技準備10分、実技試験（浴衣）20分
21	4	中 振 袖	中振袖の着付け、伊達締めの締め方、ふくら雀、全体のバランス
22	4	中 振 袖	中振袖の着付け、伊達締めの締め方、ふくら雀、全体のバランス
23	4	中 振 袖	中振袖の着付け、伊達締めの締め方、文庫結び（星雲）、全体のバランス
24	4	中 振 袖	中振袖の着付け、伊達締めの締め方、立矢結び（末広）、全体のバランス
25	4	中 振 袖	中振袖の着付け技術総復習、着付け技術についてのチェックテスト
26	4	中 振 袖 実 技 テ ス ト	中振袖実技テスト40分 全体のバランスチェック（襟・裾合わせ、ふくら雀の調和）
27	4	女 子 袴	袴の畳み方、体型補整、袴の着付け、全体のバランス
28	4	女 子 袴	袴の畳み方、体型補整、袴の着付け、全体のバランス
29	4	花 嫁 衣 裳	掛下の畳み方・体型補整・掛下の着付け（掛下帯・抱え帯・小物など）

30	4	花 嫁 衣 裳	打掛の畳み方、打掛の着付け、花嫁の立ち居振る舞い
----	---	---------	--------------------------

授 業 科 目	専門教育	アップ	学科・学年	美容科 1年
開 講 期	前期	単位数	4	担当者名 平山恵子 金野夏奈
授 業 の 概 要	美容師として、サロンで実践できる基本、応用技術習得を目的とする			
教 育 目 標 (ねらい)	基本を重点とし、時代の流れを取り入れながら、伝統的な日本髪を最終目標とする			
評 価 方 法	実技テストと授業への関心度、課題提出を評価する。 実技テスト50%、授業への関心度20%、課題提出30%とし、100点満点に換算し、60点以上で合格とする			

## 授 業 計 画

回	時間	項 目	内 容
1	4	ア ッ プ 理 論	用具の使用方法和目的
2	4	一 束 結 び	ゴムの結び方 ピンの止め方
3	4	編 み 込 み	三つ編み (表・裏) 四つ編み (丸・平)
4	4	シ ニ ョ ン	シニヨン (面・毛先の扱い方)
5	4	編み込みスタイル	三つ編み込み (表)
6	4	編み込みスタイル	三つ編み込み (裏)
7	4	編み込みスタイル	ツイストのスタイル
8	4	編み込みスタイル	フィッシュボーン
9	4	編み込みスタイル	かご編み
10	4	ハ ー フ ス タ イ ル	ハーフアップ すき毛の作り方
11	4	ハ ー フ ス タ イ ル	ハーフアップ
12	4	ハ ー フ ス タ イ ル	ハーフアップ
13	4	ハ ー フ ス タ イ ル	ハーフアップ
14	4	ハ ー フ ス タ イ ル	ハーフアップ
15	4	夜 会 巻 き	夜会巻きスタイル
16	4	夜 会 巻 き	本夜会スタイル
17	4	夜 会 巻 き	重ね夜会
18	4	夜 会 巻 き	抱き込み夜会
19	4	夜 会 巻 き	抱き込み夜会
20	4	オリジナルスタイル	ロールシニヨン
21	4	オリジナルスタイル	ロールシニヨン
22	4	オリジナルスタイル	ギブソントック
23	4	オリジナルスタイル	ブレードスタイル
24	4	オリジナルスタイル	ブレードスタイル
25	4	フ リ ー ス タ イ ル	創作アップ
26	4	日 本 髪	日本髪の練習
27	4	日 本 髪	日本髪の練習
28	4	日 本 髪	日本髪の練習
29	4	日 本 髪	日本髪の練習
30	4	日 本 髪	日本髪のテスト

授 業 科 目	専門教育	エステ	学科・学年	美容科 1年
開 講 期	前期または後期	単位数	4	担当者名
授 業 の 概 要	エステティックに関する基礎知識とエステティックの本質となる（ソワンエステ）について理解する			
教 育 目 標 (ねらい)	エステティシャンとして社会で働くうえで、基礎的な技術と心遣いを身につける			
評 価 方 法	実技テストと授業への関心度、課題提出を評価する。 実技テスト50%、授業への関心度30%、課題提出20%とし、100点満点に換算し、60点以上で合格とする			

## 授 業 計 画

回	時間	項 目	内 容
1	4	chapter 1. 2	エステティックとは・生命活動とホメオスタシス
2	4	chapter 3	身体のしくみと働きⅠ
3	4	chapter 4. 5	身体のしくみと働きⅡ・皮膚の仕組みと働きⅠ①
4	4	chapter 6	皮膚のしくみと働きⅠ②
5	4	chapter 7. 8	エステティックとカウンセリング・化粧の種類と働き
6	4	chapter 9. 10	栄養の知識・エステティックにおける衛生と消毒
7	4	chapter 11. 12	エステティックの基礎知識・ボディエステティックの基礎知識
8	4	chapter 13. エステ機器	フェイシャルエステティックの基礎知識・機器の取り扱い事前準備
9	4	フェイシャルトリートメント	クレンジング・フリマツール・ウットランプ・アロミスト・ヴァックススプレー①
10	4	フェイシャルトリートメント	クレンジング・フリマツール・ウットランプ・アロミスト・ヴァックススプレー②
11	4	フェイシャルトリートメント	フリマツール・アロミスト・ヴァックススプレー・バター・仕上げ①
12	4	フェイシャルトリートメント	フリマツール・アロミスト・ヴァックススプレー・バター・仕上げ②
13	4	フェイシャルトリートメント	クレンジング・アロミスト・アイオノス・パック・仕上げ①
14	4	フェイシャルトリートメント	クレンジング・アロミスト・アイオノス・パック・仕上げ②
15	4	フェイシャルトリートメント	クレンジング・バター・パック・ペルチェ・仕上げ①
16	4	フェイシャルトリートメント	クレンジング・バター・パック・ペルチェ・仕上げ②
17	4	フェイシャルトリートメント	カルテ記入・カウンセリング・フェイシャルトリートメント①
18	4	フェイシャルトリートメント	カルテ記入・カウンセリング・フェイシャルトリートメント②
19	4	フェイシャルトリートメント	クレンジング・フェイシャルマッサージ・パック・仕上げ①
20	4	フェイシャルトリートメント	クレンジング・フェイシャルマッサージ・パック・仕上げ②
21	4	フェイシャルトリートメント	クレンジング・フェイシャルマッサージ・パック・仕上げ③
22	4	フェイシャルトリートメント	肌別フェイシャルトリートメント・普通肌
23	4	フェイシャルトリートメント	肌別フェイシャルトリートメント・乾燥肌
24	4	フェイシャルトリートメント	肌別フェイシャルトリートメント・シミ肌
25	4	フェイシャルトリートメント	肌別フェイシャルトリートメント・敏感肌
26	4	フェイシャルトリートメント	肌別フェイシャルトリートメント・脂性肌
27	4	フェイシャルトリートメント	肌別フェイシャルトリートメント・ニキビ肌
28	4	フェイシャルトリートメント	ボディマッサージ
29	4	フェイシャルトリートメント	ボディマッサージ
30	4	フェイシャルトリートメント	ボディトリートメント

授 業 科 目	専門教育	フォト&カット		学科・学年	美容科 1年
開 講 期	前期	単位数	4	担当者名	板橋孝太（実務経験） 菊地恵美（実務経験）
授 業 の 概 要	ベーシックカット、デザインカットの知識 フォトコン作品作り、及びフォトテクニックを学ぶ				
教 育 目 標 (ねらい)	基礎知識を習得する。 身につけた技能をサロンワークに活用できるようにする。				
評 価 方 法	実技テストと授業への関心度、課題提出を評価する。 実技テスト50%、授業への関心度20%、課題提出30%とし、100点満点に換算し、60点以上で合格とする				

## 授 業 計 画

回	時間	項 目	内 容
1	4	実 習 準 備	シザーの持ち方、開閉、姿勢、ブローの練習
2	4	実 習 準 備	シザーの持ち方、開閉、姿勢、ブローの練習
3	4	実 習 準 備	フォトコンテストに向けスタイル画作成、メイク、小物準備について
4	4	実 習 準 備	展開図に沿ったカット、パネルの引き出し方、スライス、角度、姿勢を学ぶ
5	4	ワ ン レ ン グ ス	ワンレングス復習、ブロー
6	4	グラデーションボブ	展開図に沿ったカット、パネルの引き出し方、スライス、角度、姿勢を学ぶ
7	4	グラデーションボブ	グラデーションボブの復習、応用 レザー 仕上げ
8	4	マッシュルームカット	展開図に沿ったカット、パネルの引き出し方、スライス、角度、姿勢を学ぶ
9	4	マッシュルームカット	マッシュルームカット復習、応用 レザー 仕上げ
10	4	レ イ ヤ ー	展開図に沿ったカット、パネルの引き出し方、スライス、角度、姿勢を学ぶ
11	4	レ イ ヤ ー	レイヤーカット復習、応用 レザー アイロン
12	4	2セクションカット	展開図に沿ったカット、パネルの引き出し方、スライス、角度、姿勢を学ぶ
13	4	2セクションカット	2セクションカット復習、応用 レザー 仕上げ
14	4	フォトコンテスト作品	フォトコンテストに向け製図作成、ベースカット
15	4	フォトコンテスト作品	フォトコンテストに向け製図作成、ベースカット、ブリーチ
16	4	フォトコンテスト作品	フォトコンテストに向け製図作成、ベースカット、ブリーチ、メイクの方法
17	4	フォトコンテスト作品	フォトコンテストに向け製図作成、ベースカット、ブリーチ、メイクの方法
18	4	フォトコンテスト作品	フォトコン作品、仕上げカット、メイク、ブロー、アイロン仕上げ練習
19	4	フォトコンテスト作品	フォトコン作品、仕上げカット、メイク、ブロー、アイロン仕上げ練習
20	4	フォトコンテスト作品	フォトコン作品、仕上げカット、メイク、ブロー、アイロン仕上げ
21	4	フォトコンテスト作品	フォトコン作品、仕上げカット、メイク、ブロー、アイロン仕上げ
22	4	フォトコンテスト作品	出来上がった作品の撮影技術を学び、カメラによる撮影を行う
23	4	フォトコンテスト作品	出来上がった作品の撮影技術を学び、カメラによる撮影を行う
24	4	フォトコンテスト作品	出来上がった作品の撮影技術を学び、カメラによる撮影を行う
25	4	フォトコンテスト作品	写真を印刷し、テーマや、応募書類を作成する
26	4	フォトコンテスト作品	写真を印刷し、テーマや、応募書類を作成する
27	4	フォトコンテスト作品	フォトコンテストに向けた、準備、作業工程、結果のまとめ
28	4	カ ッ ト 総 復 習	基本の5パターンのカットの総復習と、応用編のアレンジカットを学ぶ
29	4	カ ッ ト 総 復 習	基本の6パターンのカットの総復習と、応用編のアレンジカットを学ぶ

30	4	カ ッ ト 総 復 習	基本の7パターンのカットの総復習と、応用編のアレンジカットを学ぶ
----	---	-------------	----------------------------------

授 業 科 目	専門教育	カラーリング	学科・学年	美容科	1年
開 講 期	後期	単位数	4	担当者名	白畑亨(実務経験) 川村こずえ(実務経験)
授 業 の 概 要	美容師として必須のカラーリング技術を基本から応用まで学ぶ				
教 育 目 標 (ねらい)	カラーリングの基礎技術を学び、薬剤の知識を身につけることにより、就職後のサロンワークに役立つ技術を身につける				
評 価 方 法	実技テストと授業への関心度、課題提出を評価する。 実技テスト50%、授業への関心度20%、課題提出30%とし、100点満点に換算し、60点以上で合格とする				

## 授 業 計 画

回	時間	項 目	内 容
1	4	実 習 準 備	ウィッグカット
2	4	実 習 準 備	ウィッグカット
3	4	ソリッドカラー技術	正しい姿勢ハケの使い方など塗布の基本技術
4	4	ソリッドカラー技術	正しい姿勢ハケの使い方など塗布の基本技術
5	4	ウィービング技術	ホイルワークなどの基礎技術
6	4	ウィービング技術	ホイルワークなどの基礎技術
7	4	カラーリング実習	ソリッドカラー、ウィービング
8	4	カラーリング実習	ソリッドカラー、ウィービング
9	4	カラーリング実習	ソリッドカラー、ウィービング
10	4	カラーリング実習	ソリッドカラー、ウィービング
11	4	カラーリング実習	ソリッドカラー、ウィービング
12	4	デモンストレーション	美容師を取り巻く環境について、リアルサロンワークデモ
13	4	カラーリング実習	ソリッドカラー、ウィービング
14	4	カラーリング実習	ソリッドカラー、ウィービング
15	4	カラーリング実習	ソリッドカラー、ウィービング
16	4	カラーリング実習	ソリッドカラー、ウィービング
17	4	カラーリング実習	ソリッドカラー、ウィービング
18	4	カラーリング実習	ソリッドカラー、ウィービング
19	4	カラーリング実習	ソリッドカラー、ウィービング
20	4	カラーリング実習	ソリッドカラー、ウィービング
21	4	カラーリング実習	ソリッドカラー、ウィービング
22	4	カラーリング実習	ソリッドカラー、ウィービング
23	4	カ ウ ン セ リ ン グ	相モデルカラーリング準備
24	4	カ ウ ン セ リ ン グ	相モデルカラーリング準備
25	4	相 モ デ ル 技 術	相モデルカラーリング
26	4	相 モ デ ル 技 術	相モデルカラーリング
27	4	相 モ デ ル 技 術	相モデルカラーリング
28	4	グ ル ー プ ワ ー ク	サロンの現場で起こるトラブルシューティング
29	4	グ ル ー プ ワ ー ク	サロントラブルの応用及び検証

30	4	実 技 テ ス ト	ソリッドカラー、ウィービング
----	---	-----------	----------------

授 業 科 目	専門教育	メイク		学科・学年	美容科 1年
開 講 期	後期	単位数	4	担当者名	藤沢奈実子（実務経験） 平山恭子（実務経験） 櫻井江利子（実務経験）
授 業 の 概 要	美容師として必須のメイク技術を基本から応用まで学ぶ				
教 育 目 標 (ねらい)	スキンケアからバリエーションなどメイクアップの知識を身につける まつ毛エクステンションにおける衛生と目のパーツにて装着を行なう技術を身につける				
評 価 方 法	実技テストと授業への関心度、課題提出を評価する。 実技テスト50%、授業への関心度20%、課題提出30%とし、100点満点に換算し、60点以上で合格とする				
授 業 計 画					
回	時間	項 目	内 容		
1	4	メイクアップ理論	道具の使用方法 目的と効果		
2	4	マ ッ サ ー ジ	オイル塗布 乳化 拭き取り		
3	4	ベ ー ス メ イ ク	ローショントーンング、クリームトーンング、アンダーベース、コンシーラー		
4	4	ポ イ ン ト メ イ ク	ファンデーション、ポイントメイク、クレンジング		
5	4	ナ チ ュ ラ ル メ イ ク	ベースメイク、アイメイク、チーク、リップ		
6	4	技 術 の 復 習	チェンジメイク、アイブローペンシルの削り方		
7	4	バリエーションメイク	キュートメイク		
8	4	バリエーションメイク	クールメイク		
9	4	バリエーションメイク	和装メイク		
10	4	バリエーションメイク	ブライダルメイク		
11	4	筆 記 試 験	UTOWAテスト 三善テスト		
12	4	実 技 試 験	ナチュラルメイク チェンジメイク		
13	4	特 殊 メ イ ク	傷メイク		
14	4	特 殊 メ イ ク	ガイコツメイク		
15	4	特 殊 メ イ ク	ハロウィンメイク		
16	4	特 殊 メ イ ク	マリリンモンローメイク		
17	4	特 殊 メ イ ク	オードリヘップバーンメイク		
18	4	ス テ ー ジ メ イ ク	宝塚メイク		
19	4	ス テ ー ジ メ イ ク	ピエロメイク		
20	4	ス テ ー ジ メ イ ク	歌舞伎メイク		
21	4	ス テ ー ジ メ イ ク	ドールメイク		
22	4	ス テ ー ジ メ イ ク	キャッツメイク		
23	4	エ ア ー ブ ラ シ	タトゥー (花)		
24	4	エ ア ー ブ ラ シ	タトゥー (蝶)		
25	4	エ ア ー ブ ラ シ	切り絵 (自主制作)		
26	4	まつ毛エクステンション	衛生		
27	4	まつ毛エクステンション	アンダーテープ		
28	4	まつ毛エクステンション	相モデル アンダーテープ		
29	4	まつ毛エクステンション	つけまつ毛に装着		

30

4

まつ毛エクステンション

つけまつ毛に装着

授 業 科 目	専門教育 クリエイティブセット			学科・学年	美容科 1年
開 講 期	後期	単位数	4	担当者名	川村重夫（実務経験）
授 業 の 概 要	主にドライヤーを使用してのセットを中心にし、まとめ髪まで対応。				
教 育 目 標 (ねらい)	セットの基本となるスタイルを習得する。 総合的なクオリティを向上させ、トータル技術を身につける。				
評 価 方 法	1、作品の仕上がり評価（バランス、課題の表現ができているか等）50% 2、授業への取り組み評価（授業態度、取り組みの姿勢）50% 総合計60点以上で合格とする。				
授 業 計 画					
回	時間	項 目	内 容		
1	4	ドライヤーセット	セットに関する知識全般。		
2	4	ドライヤーセット	クラシカルバックスタイルを目標に、各セクションごとにトレーニング		
3	4	ドライヤーセット	後頭部～クラウンのボリュームの出し方		
4	4	ドライヤーセット	トップ～フロントのボリュームや、抑える技術の実習		
5	4	ドライヤーセット	ボリュームを出す技術の実習		
6	4	ドライヤーセット	サイドの毛流れの理解、コーナー部分のボリュームの出し方とつながり		
7	4	ドライヤーセット	各セクションの復習		
8	4	ドライヤーセット	全体を通してスタイルを作成		
9	4	ドライヤーセット	全体を通してスタイルを作成		
10	4	ドライヤーセット	タイムを定め、スタイルを作成		
11	4	ドライヤーセット	タイムを定め、スタイルを作成		
12	4	ワ ン レ ン グ ス	レディースウィッグを使用し、ブロートレーニング①		
13	4	ワ ン レ ン グ ス	レディースウィッグを使用し、ブロートレーニング②		
14	4	レ イ ヤ ー	レイヤースタイルをカットし、実際にセット①		
15	4	レ イ ヤ ー	ロールブラシを使用し、操作方法確認		
16	4	パーマメントセット	パーマメントウェーブを実際につけ、スタイルを作成 レディース①		
17	4	パーマメントセット	パーマメントウェーブを実際につけ、スタイルを作成 レディース②		
18	4	パーマメントセット	パーマメントウェーブを実際につけ、スタイルを作成 メンズ①		
19	4	パーマメントセット	パーマメントウェーブを実際につけ、スタイルを作成 メンズ②		
20	4	ま と め 髪	編み込み等を含め、数スタイルを学ぶ①		
21	4	ま と め 髪	編み込み等を含め、数スタイルを学ぶ②		
22	4	ま と め 髪	編み込み等を含め、数スタイルを学ぶ③		
23	4	ま と め 髪	編み込み等を含め、数スタイルを学ぶ④		
24	4	ヘ ア デ ザ イン	カラーリングなど、デザインするために必要な知識①		
25	4	ヘ ア デ ザ イン	カラーリングなど、デザインするために必要な知識②		
26	4	ヘ ア デ ザ イン	自分でヘアデザインし、カット・セット技術を確認。ヘアカラーを含め、自分の創造力を高める		
27	4	ヘ ア デ ザ イン	自分でヘアデザインし、カット・セット技術を確認。ヘアカラーを含め、自分の創造力を高める		
28	4	ヘ ア デ ザ イン	自分でヘアデザインし、カット・セット技術を確認。ヘアカラーを含め、自分の創造力を高める		
29	4	ヘ ア デ ザ イン	自分でヘアデザインし、カット・セット技術を確認。ヘアカラーを含め、自分の創造力を高める		



授 業 科 目	関係法規			学科・学年	理容科 2年
開 講 期	通年	単位数	1	担当者名	熊谷 史子
授 業 の 概 要	理・美容師に必要な関係法規・制度を学ぶ。				
教 育 目 標 (ねらい)	理・美容師国家試験合格レベルの知識習得。				
評 価 方 法	期末試験と授業への関心態度を評価する。 期末考査60%、提出物の評価、授業への関心態度40%とし、100点満点に換算し、60点以上で合格とする。				
授 業 計 画					
回	時間	項 目	内 容		
1	2	法 制 度 の 概 要	社会生活における法の役割、法の形式 衛生法規の概要、理容師法・美容師法と附属法令		
2	2	衛 生 行 政 の 概 要	衛生行政の意義と歴史、分類と生活衛生行政の内容		
3	2	理容師法・美容師法①	目的、用語の定義		
4	2	理容師法・美容師法②	人（理容師・美容師）に関する規定（1）		
5	2	理容師法・美容師法③	人（理容師・美容師）に関する規定（2）		
6	2	理容師法・美容師法④	人（理容師・美容師）に関する規定（3）		
7	2	理容師法・美容師法⑤	施設（理容所・美容所）に関する規定（1）		
8	2	理容師法・美容師法⑥	施設（理容所・美容所）に関する規定（2）		
9	2	理容師法・美容師法⑦	違反者等に対する行政処分 罰則		
10	2	関 連 法 規 ①	理容業・美容業に関連する法律①		
11	2	関 連 法 規 ②	理容業・美容業に関連する法律②		
12	2	ま と め と 復 習 ①			
13	2	ま と め と 復 習 ②			
14	2	ま と め と 復 習 ③			
15	2	期 末 考 査	前期・後期各1時間		

授 業 科 目	衛生管理			学科・学年	理容科 2年
開 講 期	通年	単位数	1.5	担当者名	高橋 まり
授 業 の 概 要	美容師にとって欠かすことのできない衛生関係の知識を公衆衛生、環境衛生、感染症、衛生管理技術（消毒法）に分けて学ぶ。				
教 育 目 標 (ねらい)	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 美容師国家試験合格のための知識習得</li> <li>2. 公衆衛生・環境衛生の意義美容業との関わりを認識する。</li> <li>3. 美容所で起こりうる感染症に対して、適切な対処方法を身につける。</li> </ol>				
評 価 方 法	期末試験と授業への関心態度、提出物（ノート、小テスト）を評価する。 期末考査60%,授業への関心態度20%、提出物20%とし、100点満点に換算し、60点以上で合格とする。				

## 授 業 計 画

回	時間	項 目	内 容
1	2	感染症各論（1）	主な感染症①
2	2	感染症各論（2）	主な感染症② 具体的な対策の例 練習問題
3	2	消毒法総論（1）	消毒の意味と意義
4	2	消毒法総論（2）	理容・美容の業務と消毒との関係
5	2	消毒法総論（3）	消毒法と適用上の注意 練習問題
6	2	消毒法各論（1）	理学的消毒法
7	2	消毒法各論（2）	化学的消毒法①
8	2	消毒法各論（3）	化学的消毒法②
9	2	消毒法実習（1）	消毒薬の濃度計算①
10	2	消毒法実習（2）	消毒薬の濃度計算② 練習問題
11	2	消毒法実習（3）	消毒薬の選び方 練習問題
12	2	理容所および美容所における衛生管理要領（1）	目的、施設及び設備 練習問題
13	2	理容所および美容所における衛生管理要領（2）	管理① 練習問題
14	2	理容所および美容所における衛生管理要領（3）	衛生的取り扱いなど 練習問題
15	2	理容所および美容所における衛生管理要領（4）	消毒、理・美容所の樹種的管理 練習問題

16	2	国家試験対策（1）	国家試験の過去の問題を解く
17	2	国家試験対策（2）	国家試験の過去の問題を解く
18	2	国家試験対策（3）	国家試験の過去の問題を解く
19	2	国家試験対策（4）	国家試験の過去の問題を解く
20	2	国家試験対策（5）	国家試験の過去の問題を解く
21	2	国家試験対策（6）	国家試験の過去の問題を解く
22	2	国家試験対策（7）	国家試験の過去の問題を解く
23	2	期 末 考 査	前期・後期各1時間

授 業 科 目	保健			学科・学年	理容科 2年
開 講 期	通年	単位数	1.3	担当者名	高橋まり
授 業 の 概 要	一般的な皮膚科学や皮膚の保護、手入れ、皮膚疾患などについて基礎的な知識の習得。小テストや過去問を国家試験対策として練習する。				
教 育 目 標 (ねらい)	皮膚や毛髪に鋭利な刃物や薬品を使用する業務上の特徴から、皮膚や毛髪に関する「皮膚科学」の基礎を学ぶ。国家試験合格を目指す。				
評 価 方 法	期末試験と授業への関心態度、提出物(ノート、小テスト)を評価する。 期末考査60%,授業への関心態度20%、提出物20%とし、100点満点に換算し、60点以上で合格とする。				

## 授 業 計 画

回	時 間	項 目	内 容	
1	2	皮膚と皮膚付属機関の保健(1)	皮膚と全身状態、精神、栄養、嗜好品、体内病変	
2	2	皮膚と皮膚付属機関の保健(2)	皮膚の水分と脂の状態	
3	2	皮膚と皮膚付属機関の保健(3)	皮膚、皮膚付属器官とホルモン 皮膚の保護と手入れ	
4	2	皮膚と皮膚付属機関の保健(4)	毛、爪の保護と手入れ 子どものおしゃれによる皮膚トラブル	
5	2	皮膚と皮膚付属機関の保健(5)	まとめと問題	
6	2	皮膚と皮膚付属機関の疾患(1)	皮膚の異常とその種類 皮膚疾患の原因と治療法	
7	2	皮膚と皮膚付属機関の疾患(2)	皮膚炎と湿疹、蕁麻疹、薬疹① 接触皮膚炎(カブレ)	接
8	2	皮膚と皮膚付属機関の疾患(3)	皮膚炎と湿疹、蕁麻疹、薬疹② 接触皮膚炎(カブレ)	接
9	2	皮膚と皮膚付属機関の疾患(4)	皮膚炎と湿疹、蕁麻疹、薬疹③ 日光皮膚炎、小児湿疹、アトピー性皮膚炎、他	
10	2	皮膚と皮膚付属機関の疾患(5)	口唇の疾患 温熱・寒冷による皮膚障害 角化異常、色素異常による皮膚疾患	
11	2	皮膚と皮膚付属機関の疾患(6)	血管腫(アカアザ) 脂腺母斑 下肢静脈瘤 分泌異常による皮膚疾患	
12	2	皮膚と皮膚付属機関の疾患(7)	化膿菌による皮膚疾患 ウイルスによる皮膚疾患	
13	2	皮膚と皮膚付属機関の疾患(8)	真菌による皮膚疾患 衛生害虫による皮膚疾患	
14	2	皮膚と皮膚付属機関の疾患(9)	感染症の皮膚疾患の予防 毛と爪の疾患①	
15	2	皮膚と皮膚付属機関の疾患(10)	毛と爪の疾患② 皮膚の腫瘍	

16	2	皮膚と皮膚付属機関の疾患（11）	まとめと問題
17	2	国家試験対策（1）	過去の国家試験問題を解く
18	2	国家試験対策（2）	過去の国家試験問題を解く
19	2	国家試験対策（3）	過去の国家試験問題を解く
20	2	国家試験対策（4）	過去の国家試験問題を解く
21	2	国家試験対策（5）	過去の国家試験問題を解く
22	2	国家試験対策（6）	過去の国家試験問題を解く
23	2	国家試験対策（7）	過去の国家試験問題を解く
24	2	期 末 考 査	前期1時間 後期1時間

授 業 科 目	化粧品化学			学科・学年	理容科 2年
開 講 期	通年	単位数	1	担当者名	横橋 健
授 業 の 概 要	美容師として極めて重要な意義をもつ「化粧品化学の基本原理の理解と応用能力」を身に付けさせる。				
教 育 目 標 (ねらい)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・美容師国家試験合格レベルの知識習得</li> <li>・化粧品の基本知識を習得し、その機序・危険性について認識する。</li> <li>・化粧品化学の知識・理解を深め理容・美容の専門家への道を拓く。</li> </ul>				
評 価 方 法	期末試験と授業への関心態度、提出物（小テスト）を評価する。 期末考査60%、授業への関心態度20%、提出物20%とし、60点以上で合格とする。				

## 授 業 計 画

回	時間	項 目	内 容
1	2	1 年 時 の 復 習	1年時の復習
2	2	基 礎 香 粧 品	皮膚洗浄用化粧品 化粧水
3	2	基 礎 香 粧 品	クリーム・乳液
4	2	基 礎 香 粧 品	その他の基礎化粧品
5	2	メイクアップ用化粧品	ベースメイクアップ用化粧品
6	2	メイクアップ用化粧品	ベースメイクアップ用化粧品
7	2	頭皮・毛髪用(1)	シャンプー剤
8	2	頭皮・毛髪用(2)	スタイリング剤
9	2	頭皮・毛髪用(3)	パーマ剤①
10	2	頭皮・毛髪用(4)	パーマ剤②
11	2	頭皮・毛髪用(5)	ヘアカラー製品①
12	2	頭皮・毛髪用(6)	ヘアカラー製品②・養毛剤
13	2	芳 香 製 品	芳香製品
14	2	特 殊 香 粧 品	特殊化粧品
15	2	ま と め と 復 習	

16	2	期 末 考 查	前期・後期各1時間
----	---	---------	-----------

授 業 科 目	文化論			学科・学年	理容科 2年
開 講 期	通年	単位数	1	担当者名	加藤順子
授 業 の 概 要	美容師として必要な西洋と日本の美容の歴史を文化的な視点から学ぶ				
教 育 目 標 (ねらい)	美容師として必要な文化的背景と知識を習得する 国家試験合格レベルの知識を習得する				
評 価 方 法	毎回單元ごとのプリントを配布し、授業内容の確認と学びの進行状況の手掛かりとする。 また、授業中の取り組み状況の確認として、プリントを集め達成度の確認をする。期末考 査50%、プリント達成度30%、授業の関心度20%、100点満点に換算し、60点以上で合格と				
回	時間	項 目	内 容		
1	2	フ ァ ッ シ ョ ン 文 化 史 日 本 編	現代I	II (1945～1970年)	
2	2	フ ァ ッ シ ョ ン 文 化 史 日 本 編	現代III	IV (1980～2000年)	
3	2	フ ァ ッ シ ョ ン 文 化 史 西 洋 編	古代エジプト/古代ギリシャ・ローマ		
4	2	フ ァ ッ シ ョ ン 文 化 史 西 洋 編	古代ゲルマン/中世ヨーロッパ		
5	2	フ ァ ッ シ ョ ン 文 化 史 西 洋 編	古代ゲルマン/中世ヨーロッパ		
6	2	フ ァ ッ シ ョ ン 文 化 史 西 洋 編	近世I・II		
7	2	フ ァ ッ シ ョ ン 文 化 史 西 洋 編	近世III		
8	2	フ ァ ッ シ ョ ン 文 化 史 西 洋 編	近代I		
9	2	フ ァ ッ シ ョ ン 文 化 史 西 洋 編	近代II		
10	2	フ ァ ッ シ ョ ン 文 化 史 西 洋 編	現代I,II		
11	2	フ ァ ッ シ ョ ン 文 化 史 西 洋 編	現代III,IV		
12	2	フ ァ ッ シ ョ ン 文 化 史 西 洋 編	現代V		
13	2	フ ァ ッ シ ョ ン 文 化 史 西 洋 編	現代VI		
14	2	礼 装 の 種 類	和装の礼装 洋装の礼装		
15	2	期 末 考 査	前期・後期各1時間		

授 業 科 目	理容理論			学科・学年	理容科 2年
開 講 期	通年	単位数	2.5	担当者名	後藤和幸（実務経験）
授 業 の 概 要	理容の意義を十分に理解し、理容師としての基礎知識を学ぶ。				
教 育 目 標 (ねらい)	理容師に必要な理論と国家試験に必要な理論を身につける。 国家試験合格レベルの知識を習得する。				
評 価 方 法	期末考査、授業への関心度、課題提出を評価する。 期末考査50%、授業への関心度20%、課題提出30%とし、総合計60点以上で合格とする				

## 授 業 計 画

回	時間	項 目	内 容
1	2	シ ェ ー ビ ン グ	シェービングを学ぶにあたって
2	2	シ ェ ー ビ ン グ	シェービングの要件
3	2	シ ェ ー ビ ン グ	シェービングの種類
4	2	シ ェ ー ビ ン グ	シェービングの基本技術と要領①
5	2	シ ェ ー ビ ン グ	シェービングの基本技術と要領②
6	2	シ ェ ー ビ ン グ	シェービングのプロセス
7	2	シ ェ ー ビ ン グ	メンズフェイスシェービング
8	2	シ ェ ー ビ ン グ	メンズネックシェービング
9	2	シ ェ ー ビ ン グ	メンズフェイスデザイン①
10	2	シ ェ ー ビ ン グ	メンズフェイスデザイン②
11	2	シ ェ ー ビ ン グ	レディースシェービング
12	2	理容エステティック	理容エステティックを学ぶにあたって
13	2	理容エステティック	スキンケア
14	2	理容エステティック	フェイシャルケア
15	2	理容エステティック	ハンドケア
16	2	理容エステティック	フットケア～アロマセラピー
17	2	理容クリニック	理容クリニックを学ぶにあたって～ヘアクリニックのカウンセリング
18	2	理容クリニック	トリートメント
19	2	理容クリニック	ヘアケアとスカルプケア
20	2	理容クリニック	毛髪の基礎知識
21	2	理容クリニック	ヘアチェック（毛髪診断）
22	2	理容クリニック	頭皮の基礎知識
23	2	理容クリニック	スカルプチェック（頭皮診断）
24	2	理容クリニック	ヘアクリニックの用具～ウィッグ
25	2	シャンプーイング & リンシング	シャンプーイング
26	2	シャンプーイング & リンシング	シャンプーイングの方法
27	2	シャンプーイング & リンシング	シャンプーイングの技法
28	2	シャンプーイング & リンシング	リンシング
29	2	理容マッサージ	マッサージの意義と効果
30	2	理容マッサージ	理容マッサージのマニピュレーション

31	2	理容マッサージ	ヘッドマッサージの一例
32	2	理容マッサージ	クリニックマッサージの一例
33	2	ヘアトリートメント	ヘアトリートメントを学ぶにあたって
34	2	ヘアトリートメント	ヘアトリートメントの種類～ヘアトリートメントの一例
35	2	スカルプトリートメント	スカルプトリートメントを学ぶにあたって
36	2	スカルプトリートメント	スカルプトリートメントの種類～正常な頭皮に対する処置
37	2	ま と め	テキストIIの復習・テスト

授 業 科 目	運営管理			学科・学年	理容科 2年
開 講 期	後期	単位数	0.13	担当者名	熊谷 史子
授 業 の 概 要	理容業・美容業に必要な経営、マネジメントの基本的な知識を学ぶ。				
教 育 目 標 (ねらい)	理容師・美容師国家試験合格レベルの知識習得。				
評 価 方 法					
授 業 計 画					
回	時間	項 目	内 容		
1	2	顧 客 の た め に	マーケティング 接客		
2	2	ま と め と 復 習	国家試験対策		

前年度26時間履修済み

授 業 科 目	理容実習	学科・学年	理容科 2年
開 講 期	通年	単位数	15
		担当者名	後藤和幸（実務経験）
授 業 の 概 要	理容の基礎的技術を実習で学び、美や造形感覚も養う。		
教 育 目 標 (ねらい)	理容師に必要な技術を身につける。国家試験に合格レベルの実技課題を身につける。		
評 価 方 法	実技テストと授業への関心度、課題提出を評価する。 実技テスト50%、授業への関心度20%、課題提出30%とし、100点満点に換算し、60点以上で合格とする		

## 授 業 計 画

月	シャンプー	理容 マッサージ	シェービング及び顔 面処置	カット	専科	その他	備考
4	○	○	○	○			
5	○	○	○	○	○		
6	○	○	○	○	○	○	
7	○	○	○	○	○	○	ヘアデザイン
8	○			○	○		ヘアデザイン
9	○	○	○	○	○	○	ヘアデザイン カラーリング
10	○	○	○	○	○	○	
11	○	○	○	○	○	○	ヘアセッティング
12	○	○	○	○	○	○	ヘアデザイン カラーリング
1	○	○	○	○		○	ハンドケア
2	○	○	○			○	ヘアセッティング
3							
合計時数	80	70	80	130	40	50	

授 業 科 目	一般教養	デッサン	学科・学年	理容科	2年
開 講 期	前期または後期	単位数	1	担当者名	大塚 敬（実務経験）
授 業 の 概 要	主に人物をモチーフにし、デッサンする能力を身に付けさせる				
教 育 目 標 (ねらい)	1.観察する能力、描く能力を身につける。 2.イメージする能力と自身の感性の幅を広げ、磨くことを通してデッサンの基礎を身につける。				
評 価 方 法	授業への関心態度、作品の内容、提出物(クロッキー帳、小テスト)を評価する 授業への関心態度、50% 作品の内容30%、提出物20%とし、100点満点に換算し、60点以上で合格とする。				
授 業 計 画					
回	時間	項 目	内 容		
1	3	デ ッ サ ン (1)	デッサンについて 鉛筆での表現、基礎		
2	3	デ ッ サ ン (2)	人物を描く 頭部、顔の各部の形状について		
3	3	デ ッ サ ン (3)	人物を描く 頭部、顔の各部の形状について		
4	3	デ ッ サ ン (4)	人物を描く 頭部、顔の各部の形状について		
5	3	デ ッ サ ン (5)	人物を描く 頭部、顔の各部の形状について 形と色の関連性		
6	3	デ ッ サ ン (6)	人物を描く 頭部、顔の各部の形状について 形と色の関連性		
7	3	デ ッ サ ン (7)	人物を描く 頭部、顔の各部の形状について イラストボード作品 制作		
8	3	デ ッ サ ン (8)	人物を描く 頭部、顔の各部の形状について イラストボード作品 制作		
9	3	デ ッ サ ン (9)	人物を描く 頭部、顔の各部の形状について イラストボード作品 制作		
10	3	デ ッ サ ン (10)	人物を描く 頭部、顔の各部の形状について イラストボード作品 制作		

授 業 科 目	一般教養	パーソナルカラー	学科・学年	理容科	2年
開 講 期	前期または後期	単位数	1	担当者名	佐藤博美（実務経験）
授 業 の 概 要	美容師として色彩知識・パーソナルカラーが与える色の効果を学び活用法を身に付ける				
教 育 目 標 (ねらい)	パーソナルカラーの理論的な効果から肌の見え方・印象の変化を学び、顧客に求められる色の活用法を身に付ける。色彩技能パーソナルカラー検定合格レベルの知識を習得する。				
評 価 方 法	試験、授業・グループワークの取り組み、課題・提出物を評価する。 授業の関心態度40%、課題提出30%、試験30%とし、100点満点に換算し、60点以上で合格とする				

## 授 業 計 画

回	時間	項 目	内 容
1	3	パーソナルカラー概 論	パーソナルカラーとは 色の見える条件
2	3	色 の 属 性	色のしくみとパーソナルカラーの要素① 肌に与える効果(ベース・明度)
3	3	色 の 属 性	色のしくみとパーソナルカラーの要素② 肌に与える効果(彩度・清濁)
4	3	基 本 の 配 色 法	カラーコーディネート 基本の配色と感情効果
5	3	パーソナルカラーの 分 類	パーソナルカラー・4シーズン分類 色彩調和
6	3	基 礎 知 識	試験による基礎知識の確認
7	3	ま と め	パーソナルカラーのまとめ
8	3	色 の 活 用 法	パーソナルカラー・色彩効果の活用法①
9	3	色 の 活 用 法	パーソナルカラー・色彩効果の活用法②
10	3	作 品 制 作	パーソナルカラーを基にした課題作成・提出

授 業 科 目	一般教養	フラワーアレンジメント	学科・学年	理容科	2年
開 講 期	前期または後期	単位数	1	担当者名	佐藤 淳子
授 業 の 概 要	フラワーアレンジメントを通し、豊かな感性と知識を深める。理容と美容の類似点、共通点を見出し、専門的技術を身に付ける。				
教 育 目 標 (ねらい)	植物の知識を深める。基礎から応用、多岐にわたるテーマを通し芸術への探求心を深める。				
評 価 方 法	提出される作品の評価(毎時間)。授業態度・提出物。 毎作品の評価平均点60%、授業態20%、提出物20%、100点満点に換算し、60点以上で合格とする。				

## 授 業 計 画

回	時間	項 目	内 容
1	3	フラワーアレンジメントの概要	・フラワーアレンジメントの意味。授業の進め方。花材、道具取り扱い方法、注意点。①ラウンド(基礎)理論、説明。
2	3	実 技	②トライアングラー 花材説明(種類、産地、特徴) 図解説明
3	3	実 技	③ホリゾント ④母の日ラッピングアレンジ
4	3	実 技	⑤パラレル並行 ⑥交差 基礎から発展
5	3	実 技	⑦ラウンドブーケ ブライダルについて学ぶ。 ワイヤリング、テーピング、構成についてのテクニック。
6	3	実 技	⑧アメリカンスタイル ⑨ホビーアレンジ 構成違いのデザイン性、応用。
7	3	実 技	⑩ラウンドブーケ パーツ複合 ワイヤリング、テーピング+リボンワーク
8	3	実 技	⑪構造的 ⑫コラージュ テクスチャを学ぶ
9	3	実 技	⑬シーズンアレンジ 季節にちなんだフリーデザイン。
10	3	実 技	⑭フリースタイルブーケ 装飾について。 まとめ、自己評価、感想

授 業 科 目	一般教養	アートワーク	学科・学年	理容科	2年
開 講 期	前期または後期	単位数	1	担当者名	佐藤樹子
授 業 の 概 要	専門技術者としての発想力、創造力、表現力の体得				
教 育 目 標 (ねらい)	イメージし、造形するプロセスを通し、創造する楽しさ、自己表現の喜びを体感し、自身の感性と向き合う				
評 価 方 法	授業への関心態度、提出物（小テスト）を評価する。 授業への関心態度50%、作品内容30%、提出20%とし、100点満点に換算し、60点以上で合格とする				

## 授 業 計 画

回	時間	項 目	内 容
1	3	マスクアート①	創造力と想像力について 素材の特性と手法・デザイン構想
2	3	マスクアート②	作品制作
3	3	マスクアート③	作品制作
4	3	マスクアート④	まとめ
5	3	ヘアデザインアート ①	造形要素の印象について 素材の特性と手法・デザイン構想
6	3	ヘアデザインアート ②	作品制作
7	3	ヘアデザインアート ③	作品制作
8	3	ヘアドレスアート①	作品制作
9	3	ヘアドレスアート②	作品制作
10	3	ヘアデザインアート ヘアドレスアート	まとめ

授 業 科 目	一般教養	3Dネイル	学科・学年	理容科	2年
開 講 期	前期または後期	単位数	1	担当者名	遠藤淳子（実務経験）
授 業 の 概 要	ネイルアートを身につける				
教 育 目 標 (ねらい)	立体的に見せる力と創造性を養う				
評 価 方 法	実技テストと授業への関心度、課題提出を評価する。 実技テスト50%、授業への関心度20%、課題提出30%とし、総合計60点以上で合格とする				

## 授 業 計 画

回	時間	項 目	内 容
1	3	3 D ア ー ト	アクリルパウダーを使い花を作る
2	3	フ ラ ッ ト ア ー ト	アクリル絵の具を用いてのアート
3	3	リ ペ ア 技 術	リペア・チップラップなど爪の補強技術 相モデル
4	3	リ ペ ア 技 術	リペア・チップラップなど爪の補強技術 相モデル
5	3	エ ン ボ ス ア ー ト	エンボスアート
6	3	3 D ア ー ト	動物製作
7	3	3 D ア ー ト	グラデーション・フレンチ技術
8	3	中 級 技 術	アート技術を組み合わせての作品製作
9	3	ま と め	アート技術を組み合わせての作品製作
10	3	ま と め	アート技術を組み合わせての作品製作

授 業 科 目	専門教育	トータルテクニック		学科・学年	理容科 2年
開 講 期	前期	単位数	4	担当者名	高橋敏樹（実務経験） 後藤和幸（実務経験）
授 業 の 概 要	基礎から実践的な適応力を身に付ける。また、コンテスト上位入賞を目的とした技術も習得していく。				
教 育 目 標 (ねらい)	コンテスト上位入賞を目的とした技術の習得。 職人、アート、トレンドの視点から総合力の高い技術を身につける。				
評 価 方 法	課題のクリアを毎時間記録、授業最終日の試験と出欠状況、授業の関心態度を評価する。 試験60%、授業への関心態度40%、とし総合計60点以上で合格とする				

## 授 業 計 画

回	時間	項 目	内 容
1	4	カラーリング	カラーチャート造り ブリーチ（常温・加温）
2	4	カラーリング	カラーチャート造り アルカリバージョン（アンダーカラー3）
3	4	カラーリング	カラーチャート造り マニキュアバージョン
4	4	カラーリング	塗布の練習
5	4	メンズフリージャンクション	カット パーマ セット コンテスト創作
6	4	メンズフリージャンクション	カット カラーの実際
7	4	メンズフリージャンクション	カット カラーの実際
8	4	ワンレングス カラー	カット （ブリーチ カラー 4パターン）
9	4	レディース グラボブ	カット セットの実際
10	4	レディース グラボブ	カラー（オールorスライジング、ウィービング）
11	4	レディース レイヤー	ミディアムロングでレディースパーマ ヘアカタログ参照
12	4	レディース レイヤー	ミディアムロング ブロッキング～縦 横巻きで全頭を巻く
13	4	レディース レイヤー	カラー（オールorスライジング、ウィービング）
14	4	メンズフリージャンクション	カット セット カラー 作品造り
15	4	メンズフリージャンクション	カット カラー セット 作品造り
16	4	メンズフリージャンクション	コンテスト製作
17	4	アップスタイル	スタイル造り
18	4	フロントロングレイヤー	レディースフロントロングレイヤーカット セット
19	4	ブロースカット	国試用ウィッグにてブロースカット
20	4	ストレートパーマ	DVD学習 アイロン操作
21	4	ストレートパーマ	実際に薬液処理
22	4	メンズカット	メンズカット・パーマ
23	4	アイロンパーマ	ショートスタイルカット アイロン持ち方・操作
24	4	アイロンパーマ	アイロン練習
25	4	アイロンパーマ	薬液処理しアイロンパーマ
26	4	クラシカルカット	クラシカルカット
27	4	クラシカルカット	クラシカルセット
28	4	レイヤーボブ	レディースレイヤーボブカット セット コンテスト創作
29	4	アップスタイル	スタイル造り

30	4	アップスタイル	スタイル造り
----	---	---------	--------

授 業 科 目	専門教育	カットII		学科・学年	理容科 2年
開 講 期	後期	単位数	4	担当者名	杉本智亜樹（実務経験） 後藤和幸（実務経験）
授 業 の 概 要	サロンワークに直結した内容を学び、理容師の仕事の魅力を知る。				
教 育 目 標 (ねらい)	現代のトレンドに合った技術の習得、技術の活かし方を学習する。				
評 価 方 法	授業最終日のコンテスト、授業の関心態度を評価する。 試験60%、授業への関心態度40%とし、100点満点に換算し、60点以上で合格とする。				

## 授 業 計 画

回	時間	項 目	内 容
1	4	ミディアムレイヤー	カットシステムの理解と実際
2	4	セイムレイヤーカット	カットシステムの理解と実際
3	4	ショートレイヤー	カットシステムの理解と実際
4	4	グラデーションボブ	カットシステムの理解と実際
5	4	グラデーションボブ	カラーリング実施
6	4	ロングレイヤー	トレンドに合わせたスタイルのカットとスタイリング
7	4	グラボブ	仕上げとセット
8	4	システムマッシュレイヤー	トレンドに合わせたミディアムのカットとスタイリング
9	4	スクエアカット	カットシステムの理解と実際
10	4	ミディアム事前カット	カットの実際 レディースミディアムカット
11	4	ミディアムカット	カットとぼかし(直し)セット
12	4	ハーフロング ブロース	カットとぼかし(直し)
13	4	ポ ブ	トレンドに合わせたポブのカットとスタイリング
14	4	ブ ロ ー ス	カットとぼかし(直し)セット
15	4	シ ョ ー ト ボ ブ	トレンドに合わせたショートボブのカットとスタイリング
16	4	ミディアム事前カット	カットの実際 レディースミディアムカット
17	4	ミディアムカット	カットとぼかし(直し)セット
18	4	ハーフロング ブロース	カットとぼかし(直し)セット
19	4	ブ ロ ー ス	カットとぼかし(直し)セット
20	4	クラシカルカット	カットの実際
21	4	クラシカルカット	カット 仕上げ
22	4	フ リ ー ス タ イ ル	フリー作品作り(ミニコンテスト)
23	4	フ リ ー ス タ イ ル	フリー作品作り(ミニコンテスト)
24	4	フ リ ー ス タ イ ル	フリー作品作り(ミニコンテスト)
25	4	フ リ ー ス タ イ ル	フリー作品作り(ミニコンテスト)
26	4	デザインコンテスト	学習してきたことを活かしてデザインカット
27	4	クラシカルバック	カット仕上げ セット
28	4	ミディアム事前カット	カットの実際 レディースミディアムカット
29	4	ミディアムカット	カットとぼかし(直し)セット(テスト)

30	4	フリーカット	相モデルでの実施
----	---	--------	----------

授 業 科 目	関係法規			学科・学年	美容科 2年
開 講 期	通年	単位数	1	担当者名	熊谷 史子
授 業 の 概 要	理・美容師に必要な関係法規・制度を学ぶ。				
教 育 目 標 (ねらい)	理・美容師国家試験合格レベルの知識習得。				
評 価 方 法	期末試験と授業への関心態度を評価する。 期末考査60%、提出物の評価、授業への関心態度40%とし、100点満点に換算し、60点以上で合格とする。				
授 業 計 画					
回	時間	項 目	内 容		
1	2	法 制 度 の 概 要	社会生活における法の役割、法の形式 衛生法規の概要、理容師法・美容師法と附属法令		
2	2	衛 生 行 政 の 概 要	衛生行政の意義と歴史、分類と生活衛生行政の内容		
3	2	理容師法・美容師法①	目的、用語の定義		
4	2	理容師法・美容師法②	人（理容師・美容師）に関する規定（1）		
5	2	理容師法・美容師法③	人（理容師・美容師）に関する規定（2）		
6	2	理容師法・美容師法④	人（理容師・美容師）に関する規定（3） レディースウィッグを使用し、ブロートレーニング①		
7	2	理容師法・美容師法⑤	施設（理容所・美容所）に関する規定（1）		
8	2	理容師法・美容師法⑥	施設（理容所・美容所）に関する規定（2）		
9	2	理容師法・美容師法⑦	違反者等に対する行政処分 罰則		
10	2	関 連 法 規 ①	理容業・美容業に関連する法律①		
11	2	関 連 法 規 ②	理容業・美容業に関連する法律②		
12	2	ま と め と 復 習 ①			
13	2	ま と め と 復 習 ②			
14	2	ま と め と 復 習 ③			
15	2	期 末 考 査	前期・後期各1時間		

授 業 科 目	衛生管理			学科・学年	美容科 2年
開 講 期	通年	単位数	1.5	担当者名	高橋 まり
授 業 の 概 要	美容師にとって欠かすことのできない衛生関係の知識を公衆衛生、環境衛生、感染症、衛生管理技術（消毒法）に分けて学ぶ。				
教 育 目 標 (ねらい)	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 美容師国家試験合格のための知識習得</li> <li>2. 公衆衛生・環境衛生の意義美容業との関わりを認識する。</li> <li>3. 美容所で起こりうる感染症に対して、適切な対処方法を身につける。</li> </ol>				
評 価 方 法	期末試験と授業への関心態度、提出物（ノート、小テスト）を評価する。 期末考査60%,授業への関心態度20%、提出物20%とし、100点満点に換算し、60点以上で合格とする。				

## 授 業 計 画

回	時間	項 目	内 容
1	2	感染症各論（1）	主な感染症①
2	2	感染症各論（2）	主な感染症② 具体的な対策の例 練習問題
3	2	消毒法総論（1）	消毒の意味と意義
4	2	消毒法総論（2）	理容・美容の業務と消毒との関係
5	2	消毒法総論（3）	消毒法と適用上の注意 練習問題
6	2	消毒法各論（1）	理学的消毒法
7	2	消毒法各論（2）	化学的消毒法①
8	2	消毒法各論（3）	化学的消毒法②
9	2	消毒法実習（1）	消毒薬の濃度計算①
10	2	消毒法実習（2）	消毒薬の濃度計算② 練習問題
11	2	消毒法実習（3）	消毒薬の選び方 練習問題
12	2	理容所および美容所における衛生管理要領（1）	目的、施設及び設備 練習問題
13	2	理容所および美容所における衛生管理要領（2）	管理① 練習問題
14	2	理容所および美容所における衛生管理要領（3）	衛生的取り扱いなど 練習問題
15	2	理容所および美容所における衛生管理要領（4）	消毒、理・美容所の樹種的管理 練習問題

16	2	国家試験対策（1）	国家試験の過去の問題を解く
17	2	国家試験対策（2）	国家試験の過去の問題を解く
18	2	国家試験対策（3）	国家試験の過去の問題を解く
19	2	国家試験対策（4）	国家試験の過去の問題を解く
20	2	国家試験対策（5）	国家試験の過去の問題を解く
21	2	国家試験対策（6）	国家試験の過去の問題を解く
22	2	国家試験対策（7）	国家試験の過去の問題を解く
23	2	期 末 考 査	前期・後期各1時間

授 業 科 目	保健			学科・学年	美容科 2年
開 講 期	通年	単位数	1.3	担当者名	高橋まり
授 業 の 概 要	一般的な皮膚科学や皮膚の保護、手入れ、皮膚疾患などについて基礎的な知識の習得。小テストや過去問を国家試験対策として練習する。				
教 育 目 標 (ねらい)	皮膚や毛髪に鋭利な刃物や薬品を使用する業務上の特徴から、皮膚や毛髪に関する「皮膚科学」の基礎を学ぶ。国家試験合格を目指す。				
評 価 方 法	期末試験と授業への関心態度、提出物（ノート、小テスト）を評価する。 期末考査60%,授業への関心態度20%、提出物20%とし、100点満点に換算し、60点以上で合格とする。				

## 授 業 計 画

回	時 間	項 目	内 容
1	2	皮膚と皮膚付属機関の保健（1）	皮膚と全身状態、精神、栄養、嗜好品、体内病変
2	2	皮膚と皮膚付属機関の保健（2）	皮膚の水分と脂の状態
3	2	皮膚と皮膚付属機関の保健（3）	皮膚、皮膚付属器官とホルモン 皮膚の保護と手入れ
4	2	皮膚と皮膚付属機関の保健（4）	毛、爪の保護と手入れ 子どものおしゃれによる皮膚トラブル
5	2	皮膚と皮膚付属機関の保健（5）	まとめと問題
6	2	皮膚と皮膚付属機関の疾患（1）	皮膚の異常とその種類 皮膚疾患の原因と治療法
7	2	皮膚と皮膚付属機関の疾患（2）	皮膚炎と湿疹、蕁麻疹、薬疹① 接触皮膚炎（カブレ）
8	2	皮膚と皮膚付属機関の疾患（3）	皮膚炎と湿疹、蕁麻疹、薬疹② 接触皮膚炎（カブレ）
9	2	皮膚と皮膚付属機関の疾患（4）	皮膚炎と湿疹、蕁麻疹、薬疹③ 日光皮膚炎、小児湿疹、アトピー性皮膚炎、他
10	2	皮膚と皮膚付属機関の疾患（5）	口唇の疾患 温熱・寒冷による皮膚障害 角化異常、色素異常による皮膚疾患
11	2	皮膚と皮膚付属機関の疾患（6）	血管腫（アカアザ） 脂腺母斑 下肢静脈瘤 分泌異常による皮膚疾患
12	2	皮膚と皮膚付属機関の疾患（7）	化膿菌による皮膚疾患 ウイルスによる皮膚疾患
13	2	皮膚と皮膚付属機関の疾患（8）	真菌による皮膚疾患 衛生害虫による皮膚疾患
14	2	皮膚と皮膚付属機関の疾患（9）	感染症の皮膚疾患の予防 毛と爪の疾患①
15	2	皮膚と皮膚付属機関の疾患（10）	毛と爪の疾患② 皮膚の腫瘍

16	2	皮膚と皮膚付属機関 の疾患（11）	まとめと問題
17	2	国家試験対策（1）	過去の国家試験問題を解く
18	2	国家試験対策（2）	過去の国家試験問題を解く
19	2	国家試験対策（3）	過去の国家試験問題を解く
20	2	国家試験対策（4）	過去の国家試験問題を解く
21	2	国家試験対策（5）	過去の国家試験問題を解く
22	2	国家試験対策（6）	過去の国家試験問題を解く
23	2	国家試験対策（7）	過去の国家試験問題を解く
24	2	期 末 考 査	前期1時間 後期1時間

授 業 科 目	化粧品化学			学科・学年	美容科 2年
開 講 期	通年	単位数	1	担当者名	横橋 健
授 業 の 概 要	美容師として極めて重要な意義をもつ「化粧品化学の基本原理の理解と応用能力」を身に付けさせる。				
教 育 目 標 (ねらい)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・美容師国家試験合格レベルの知識習得</li> <li>・化粧品の基本知識を習得し、その機序・危険性について認識する。</li> <li>・化粧品化学の知識・理解を深め理容・美容の専門家への道を拓く。</li> </ul>				
評 価 方 法	<p>期末試験と授業への関心態度、提出物（小テスト）を評価する。</p> <p>期末考査60%、授業への関心態度20%、提出物20%とし、60点以上で合格とする。</p>				

## 授 業 計 画

回	時間	項 目	内 容
1	2	1 年 時 の 復 習	1年時の復習
2	2	基 礎 香 粧 品	皮膚洗浄用化粧品 化粧水
3	2	基 礎 香 粧 品	クリーム・乳液
4	2	基 礎 香 粧 品	その他の基礎化粧品
5	2	メイクアップ用化粧品	ベースメイクアップ用化粧品
6	2	メイクアップ用化粧品	ベースメイクアップ用化粧品
7	2	頭 皮 ・ 毛 髪 用 (1)	シャンプー剤
8	2	頭 皮 ・ 毛 髪 用 (2)	スタイリング剤
9	2	頭 皮 ・ 毛 髪 用 (3)	パーマ剤①
10	2	頭 皮 ・ 毛 髪 用 (4)	パーマ剤②
11	2	頭 皮 ・ 毛 髪 用 (5)	ヘアカラー製品①
12	2	頭 皮 ・ 毛 髪 用 (6)	ヘアカラー製品②・養毛剤
13	2	芳 香 製 品	芳香製品
14	2	特 殊 香 粧 品	特殊化粧品
15	2	ま と め と 復 習	

16	2	期 末 考 查	前期・後期各1時間
----	---	---------	-----------

授 業 科 目	文化論			学科・学年	美容科 2年
開 講 期	通年	単位数	1	担当者名	加藤順子
授 業 の 概 要	美容師として必要な西洋と日本の美容の歴史を文化的な視点から学ぶ				
教 育 目 標 (ねらい)	美容師として必要な文化的背景と知識を習得する 国家試験合格レベルの知識を習得する				
評 価 方 法	毎回單元ごとのプリントを配布し、授業内容の確認と学びの進行状況の手掛かりとする。 また、授業中の取り組み状況の確認として、プリントを集め達成度を確認をする。期末考 査50%、プリント達成度30%、授業の関心度20%、100点満点に換算し、60点以上で合格と				
回	時間	項 目	内 容		
1	2	フ ァ ッ シ ョ ン 文 化 史 日 本 編	現代I	II (1945～1970年)	
2	2	フ ァ ッ シ ョ ン 文 化 史 日 本 編	現代III	IV (1980～2000年)	
3	2	フ ァ ッ シ ョ ン 文 化 史 西 洋 編	古代エジプト/古代ギリシャ・ローマ		
4	2	フ ァ ッ シ ョ ン 文 化 史 西 洋 編	古代ゲルマン/中世ヨーロッパ		
5	2	フ ァ ッ シ ョ ン 文 化 史 西 洋 編	古代ゲルマン/中世ヨーロッパ		
6	2	フ ァ ッ シ ョ ン 文 化 史 西 洋 編	近世I・II		
7	2	フ ァ ッ シ ョ ン 文 化 史 西 洋 編	近世III		
8	2	フ ァ ッ シ ョ ン 文 化 史 西 洋 編	近代I		
9	2	フ ァ ッ シ ョ ン 文 化 史 西 洋 編	近代II		
10	2	フ ァ ッ シ ョ ン 文 化 史 西 洋 編	現代I,II		
11	2	フ ァ ッ シ ョ ン 文 化 史 西 洋 編	現代III,IV		
12	2	フ ァ ッ シ ョ ン 文 化 史 西 洋 編	現代V		
13	2	フ ァ ッ シ ョ ン 文 化 史 西 洋 編	現代VI		
14	2	礼 装 の 種 類	和装の礼装 洋装の礼装		
15	2	期 末 考 査	前期・後期各1時間		

授 業 科 目	美容理論			学科・学年	美容科 2年
開 講 期	通年	単位数	2.5	担当者名	山内とし子（実務経験） 岡田聡江（実務経験）
授 業 の 概 要	美容の意義を十分に理解し、美容師としての基礎知識を学ぶ。				
教 育 目 標 （ねらい）	美容師に必要な理論を身につける 国家試験合格レベルの理論の知識を習得する。				
評 価 方 法	期末考査、授業への関心度、課題提出を評価する。 期末考査60%、授業への関心度20%、課題提出20%とし、100点満点に換算し、60点以上で合格とする				

## 授 業 計 画

回	時間	項 目	内 容
1	2	シャンプーイング	バックシャンプーマニュアル作成
2	2	シャンプーイング	バックシャンプーマニュアル作成
3	2	シャンプーイング	バックシャンプーマニュアル作成
4	2	ヘアセッティング	ヘアセッティングとは、ヘアパーティング、ヘアシェーピング
5	2	ヘアセッティング	ヘアカーリング、ヘアウェーピング、ローラーカーリング
6	2	ヘアセッティング	ブロードライ、アイロンセッティング、バックコーミング
7	2	ヘアセッティング	アップスタイル、ウィッグとヘアピース
8	2	ヘアセッティング	マニュアル作成
9	2	ヘアセッティング	マニュアル作成
10	2	ヘアセッティング	マニュアル作成
11	2	ネ イ ル	ネイル技術理論、ネイル技術の種類、詰め構造と機能
12	2	ネ イ ル	レディースウィッグを使用し、ブロートレーニング①
13	2	ネ イ ル	ネイルケア、アーティフィシャルネイル、手と足のマッサージ
14	2	エ ス テ テ ィ ッ ク	エステティック概論、生理機能、カウンセリング
15	2	エ ス テ テ ィ ッ ク	フェイシャルケア、マッサージ
16	2	エ ス テ テ ィ ッ ク	ボディケア技術、ボディマッサージ、脱毛ケア技術
17	2	日 本 髪	日本髪の由来 日本髪の各部の名称 日本髪の種類と特徴
18	2	日 本 髪	日本髪の調和 日本髪の装飾品 日本髪の結髪道具
19	2	着付けの理論と技術	着付けの目的 礼装 着物と季節 着物のいろいろ 帯
20	2	着付けの理論と技術	小物 着物各部の名称 着物のたたみ方 一般的要領
21	2	ま と め ・ 復 習	期末・国家試験対策
22	2	ま と め ・ 復 習	期末・国家試験対策
23	2	ま と め ・ 復 習	期末・国家試験対策
24	2	ま と め ・ 復 習	期末・国家試験対策
25	2	ま と め ・ 復 習	期末・国家試験対策
26	2	ま と め ・ 復 習	期末・国家試験対策
27	2	ま と め ・ 復 習	期末・国家試験対策
28	2	ま と め ・ 復 習	期末・国家試験対策
29	2	ま と め ・ 復 習	期末・国家試験対策

30	2	ま と め ・ 復 習	期末・国家試験対策
31	2	ま と め ・ 復 習	期末・国家試験対策
32	2	ま と め ・ 復 習	期末・国家試験対策
33	2	ま と め ・ 復 習	期末・国家試験対策
34	2	ま と め ・ 復 習	期末・国家試験対策
35	2	ま と め ・ 復 習	期末・国家試験対策
36	2	ま と め ・ 復 習	期末・国家試験対策
37	2	期 末 考 査	前期・後期各1時間

授 業 科 目	運営管理			学科・学年	美容科 2年
開 講 期	後期	単位数	0.13	担当者名	熊谷 史子
授 業 の 概 要	理容業・美容業に必要な経営、マネジメントの基本的な知識を学ぶ。				
教 育 目 標 (ねらい)	理容師・美容師国家試験合格レベルの知識習得。				
評 価 方 法					
授 業 計 画					
回	時間	項 目	内 容		
1	2	顧 客 の た め に	マーケティング 接客		
2	2	ま と め と 復 習	国家試験対策		

前年度26時間履修済み

レディースウィッグを使用し、ブロートレーニング①

授 業 科 目	美容実習			学科・学年	美容科	2年
開 講 期	通年	単位数	15	担当者名	山内とし子（実務経験） 岡田聡江（実務経験）	
授 業 の 概 要	美容の基礎的技術を実習で学び、実技の奥深さを知る					
教 育 目 標 (ねらい)	美容師に必要な実技と、国家試験に必要な実技課題を学ぶ					
評 価 方 法	実技テストと授業への関心度、課題提出を評価する。 実技テスト60%、授業への関心度20%、課題提出20%とし、100点満点に換算し、60点以上で合格とする					
授 業 計 画						
月	シャンプー	カット	ワインディング	セッティング	専科	備考
4	○	○	○	○		
5	○	○	○	○	○	
6	○	○	○	○	○	
7	○	○	○	○	○	
8	○	○	○	○	○	
9	○	○	○	○	○	
10	○	○	○	○	○	
11	○	○	○	○	○	
12	○	○	○	○	○	
1	○	○	○	○		
2	○	○	○	○		
3		○	○	○		
合計時数	100	100	100	110	40	

授 業 科 目	一般教養	デッサン	学科・学年	美容科	2年
開 講 期	前期および後期	単位数	1	担当者名	大塚 敬（実務経験）
授 業 の 概 要	主に人物をモチーフにし、デッサンする能力を身に付けさせる				
教 育 目 標 (ねらい)	1.観察する能力、描く能力を身につける。 2.イメージする能力と自身の感性の幅を広げ、磨くことを通してデッサンの基礎を身につける。				
評 価 方 法	授業への関心態度、作品の内容、提出物(クロッキー帳、小テスト)を評価する 授業への関心態度、50% 作品の内容30%、提出物20%とし、100点満点に換算し、60点以上で合格とする。				
授 業 計 画					
回	時間	項 目	内 容		
1	3	デ ッ サ ン (1)	デッサンについて 鉛筆での表現、基礎		
2	3	デ ッ サ ン (2)	人物を描く 頭部、顔の各部の形状について		
3	3	デ ッ サ ン (3)	人物を描く 頭部、顔の各部の形状について		
4	3	デ ッ サ ン (4)	人物を描く 頭部、顔の各部の形状について		
5	3	デ ッ サ ン (5)	人物を描く 頭部、顔の各部の形状について 形と色の関連性		
6	3	デ ッ サ ン (6)	人物を描く レディースウィッグを使用し、プロトレニング①		
7	3	デ ッ サ ン (7)	人物を描く 頭部、顔の各部の形状について イラストボード作品 制作		
8	3	デ ッ サ ン (8)	人物を描く 頭部、顔の各部の形状について イラストボード作品 制作		
9	3	デ ッ サ ン (9)	人物を描く 頭部、顔の各部の形状について イラストボード作品 制作		
10	3	デ ッ サ ン (10)	人物を描く 頭部、顔の各部の形状について イラストボード作品 制作		

授 業 科 目	一般教養	パーソナルカラー	学科・学年	美容科	2年
開 講 期	前期および後期	単位数	1	担当者名	佐藤博美（実務経験）
授 業 の 概 要	美容師として色彩知識・パーソナルカラーが与える色の効果を学び活用法を身に付ける				
教 育 目 標 (ねらい)	パーソナルカラーの理論的な効果から肌の見え方・印象の変化を学び、顧客に求められる色の活用法を身に付ける。色彩技能パーソナルカラー検定合格レベルの知識を習得する。				
評 価 方 法	試験、授業・グループワークの取り組み、課題・提出物を評価する。 授業の関心態度40%、課題提出30%、試験30%とし、100点満点に換算し、60点以上で合格とする				

## 授 業 計 画

回	時間	項 目	内 容
1	3	パーソナルカラー概論	パーソナルカラーとは 色の見える条件
2	3	色 の 属 性	色のしくみとパーソナルカラーの要素① 肌に与える効果(ベース・明度)
3	3	色 の 属 性	色のしくみとパーソナルカラーの要素② 肌に与える効果(彩度・清濁)
4	3	基 本 の 配 色 法	カラーコーディネート 基本の配色と感情効果
5	3	パーソナルカラーの分類	パーソナルカラー・4シーズン分類 色彩調和
6	3	基 礎 知 識	試験による基礎知識の確認 レディースウィッグを使用し、ブロートレーニング①
7	3	ま と め	パーソナルカラーのまとめ
8	3	色 の 活 用 法	パーソナルカラー・色彩効果の活用法①
9	3	色 の 活 用 法	パーソナルカラー・色彩効果の活用法②
10	3	作 品 制 作	パーソナルカラーを基にした課題作成・提出

授 業 科 目	一般教養	フラワーアレンジメント	学科・学年	美容科	2年
開 講 期	前期および後期	単位数	1	担当者名	佐藤 淳子
授 業 の 概 要	フラワーアレンジメントを通し、豊かな感性と知識を深める。理容と美容の類似点、共通点を見出し、専門的技術を身に付ける。				
教 育 目 標 (ねらい)	植物の知識を深める。基礎から応用、多岐にわたるテーマを通し芸術への探求心を深める。				
評 価 方 法	提出される作品の評価(毎時間)。授業態度・提出物。 毎作品の評価平均点60%、授業態20%、提出物20%、100点満点に換算し、60点以上で合格とする。				

## 授 業 計 画

回	時間	項 目	内 容
1	3	フラワーアレンジメントの概要	・フラワーアレンジメントの意味。授業の進め方。花材、道具取り扱い方法、注意点。①ラウンド(基礎)理論、説明。
2	3	実 技	②トライアングラー 花材説明(種類、産地、特徴) 図解説明
3	3	実 技	③ホリゾント ④母の日ラッピングアレンジ
4	3	実 技	⑤パラレル並行 ⑥交差 基礎から発展
5	3	実 技	⑦ラウンドブーケ ブライダルについて学ぶ。 ワイヤリング、テーピング、構成についてのテクニック。
6	3	実 技	⑧アメリカンスタイル レディースウィッグを使用し、プロトレーニング①
7	3	実 技	⑩ラウンドブーケ パーツ複合 ワイヤリング、テーピング+リボンワーク
8	3	実 技	⑪構造的 ⑫コラージュ テクスチャを学ぶ
9	3	実 技	⑬シーズンアレンジ 季節にちなんだフリーデザイン。
10	3	実 技	⑭フリースタイルブーケ 装飾について。 まとめ、自己評価、感想

授 業 科 目	一般教養	アートワーク	学科・学年	美容科	2年
開 講 期	前期および後期	単位数	1	担当者名	佐藤樹子
授 業 の 概 要	専門技術者としての発想力、創造力、表現力の体得				
教 育 目 標 (ねらい)	イメージし、造形するプロセスを通し、創造する楽しさ、自己表現の喜びを体感し、自身の感性と向き合う				
評 価 方 法	授業への関心態度、提出物（小テスト）を評価する。 授業への関心態度50%、作品内容30%、提出20%とし、100点満点に換算し、60点以上で合格とする				

## 授 業 計 画

回	時間	項 目	内 容
1	3	マスクアート①	創造力と想像力について 素材の特性と手法・デザイン構想
2	3	マスクアート②	作品制作
3	3	マスクアート③	作品制作
4	3	マスクアート④	まとめ
5	3	ヘアデザインアート①	造形要素の印象について 素材の特性と手法・デザイン構想
6	3	ヘアデザインアート②	作品制作
7	3	ヘアデザインアート③	作品制作
8	3	ヘアドレスアート①	作品制作
9	3	ヘアドレスアート②	作品制作
10	3	ヘアデザインアート ヘアドレスアート	まとめ

授 業 科 目	一般教養	3Dネイル	学科・学年	美容科	2年
開 講 期	前期および後期	単位数	1	担当者名	遠藤淳子（実務経験）
授 業 の 概 要	ネイルアートを身につける				
教 育 目 標 (ねらい)	立体的に見せる力と創造性を養う				
評 価 方 法	実技テストと授業への関心度、課題提出を評価する。 実技テスト50%、授業への関心度20%、課題提出30%とし、総合計60点以上で合格とする				

## 授 業 計 画

回	時間	項 目	内 容
1	3	3 D ア ー ト	アクリルパウダーを使い花を作る
2	3	フ ラ ッ ト ア ー ト	アクリル絵の具を用いてのアート
3	3	リ ペ ア 技 術	リペア・チップラップなど爪の補強技術 相モデル
4	3	リ ペ ア 技 術	リペア・チップラップなど爪の補強技術 相モデル
5	3	エ ン ボ ス ア ー ト	エンボスアート
6	3	3 D ア ー ト	動物製作
7	3	3 D ア ー ト	グラデーション・フレンチ技術
8	3	中 級 技 術	アート技術を組み合わせての作品製作
9	3	ま と め	アート技術を組み合わせての作品製作
10	3	ま と め	アート技術を組み合わせての作品製作

授 業 科 目	専門教育	アップ	学科・学年	美容科 2年
開 講 期	前期	単位数	4	担当者名 平山恵子 金野夏奈
授 業 の 概 要	美容師として、サロンで実践できる基本、応用技術習得を目的とする			
教 育 目 標 (ねらい)	基本を重点とし、時代の流れを取り入れながら、伝統的な日本髪を最終目標とする			
評 価 方 法	実技テストと授業への関心度、課題提出を評価する。 実技テスト50%、授業への関心度20%、課題提出30%とし、100点満点に換算し、60点以上で合格とする			

## 授 業 計 画

回	時間	項 目	内 容
1	4	ア ッ プ 理 論	用具の使用方法和目的
2	4	一 束 結 び	ゴムの結び方 ピンの止め方
3	4	編 み 込 み	三つ編み (表・裏) 四つ編み (丸・平)
4	4	シ ニ ョ ン	シニヨン (面・毛先の扱い方)
5	4	編み込みスタイル	三つ編み込み (表)
6	4	編み込みスタイル	三つ編み込み (裏)
7	4	編み込みスタイル	ツイストのスタイル
8	4	編み込みスタイル	フィッシュボーン
9	4	編み込みスタイル	かご編み
10	4	ハ ー フ ス タ イ ル	ハーフアップ すき毛の作り方
11	4	ハ ー フ ス タ イ ル	ハーフアップ
12	4	ハ ー フ ス タ イ ル	レディースウィッグを使用し、プロトレーニング①
13	4	ハ ー フ ス タ イ ル	ハーフアップ
14	4	ハ ー フ ス タ イ ル	ハーフアップ
15	4	夜 会 巻 き	夜会巻きスタイル
16	4	夜 会 巻 き	本夜会スタイル
17	4	夜 会 巻 き	重ね夜会
18	4	夜 会 巻 き	抱き込み夜会
19	4	夜 会 巻 き	抱き込み夜会
20	4	オリジナルスタイル	ロールシニヨン
21	4	オリジナルスタイル	ロールシニヨン
22	4	オリジナルスタイル	ギブソンタック
23	4	オリジナルスタイル	ブレードスタイル
24	4	オリジナルスタイル	ブレードスタイル
25	4	フ リ ー ス タ イ ル	創作アップ
26	4	日 本 髪	日本髪の練習
27	4	日 本 髪	日本髪の練習
28	4	日 本 髪	日本髪の練習
29	4	日 本 髪	日本髪の練習
30	4	日 本 髪	日本髪のテスト

授 業 科 目	専門教育	フォト&カット		学科・学年	美容科 2年
開 講 期	前期	単位数	4	担当者名	板橋孝太（実務経験） 菊地恵美（実務経験）
授 業 の 概 要	ベーシックカット、デザインカットの知識 フォトコン作品作り、及びフォトテクニックを学ぶ				
教 育 目 標 (ねらい)	基礎知識を習得する。 身につけた技能をサロンワークに活用できるようにする。				
評 価 方 法	実技テストと授業への関心度、課題提出を評価する。 実技テスト50%、授業への関心度20%、課題提出30%とし、100点満点に換算し、60点以上で合格とする				

## 授 業 計 画

回	時間	項 目	内 容
1	4	実 習 準 備	シザーの持ち方、開閉、姿勢、ブローの練習
2	4	実 習 準 備	シザーの持ち方、開閉、姿勢、ブローの練習
3	4	実 習 準 備	フォトコンテストに向けスタイル画作成、メイク、小物準備について
4	4	実 習 準 備	展開図に沿ったカット、パネルの引き出し方、スライス、角度、姿勢を学ぶ
5	4	ワ ン レ ン グ ス	ワンレングス復習、ブロー
6	4	グラデーションボブ	展開図に沿ったカット、パネルの引き出し方、スライス、角度、姿勢を学ぶ
7	4	グラデーションボブ	グラデーションボブの復習、応用 レザー 仕上げ
8	4	マッシュルームカッ	展開図に沿ったカット、パネルの引き出し方、スライス、角度、姿勢を学ぶ
9	4	マッシュルームカッ	マッシュルームカット復習、応用 レザー 仕上げ
10	4	レ イ ヤ ー	展開図に沿ったカット、パネルの引き出し方、スライス、角度、姿勢を学ぶ
11	4	レ イ ヤ ー	レイヤーカット復習、応用 レザー アイロン
12	4	2セクションカット	レディースウィッグを使用し、ブロートレーニング①
13	4	2セクションカット	2セクションカット復習、応用 レザー 仕上げ
14	4	フォトコンテスト作	フォトコンテストに向け製図作成、ベースカット
15	4	フォトコンテスト作	フォトコンテストに向け製図作成、ベースカット、ブリーチ
16	4	フォトコンテスト作	フォトコンテストに向け製図作成、ベースカット、ブリーチ、メイクの方法
17	4	フォトコンテスト作	フォトコンテストに向け製図作成、ベースカット、ブリーチ、メイクの方法
18	4	フォトコンテスト作	フォトコン作品、仕上げカット、メイク、ブロー、アイロン仕上げ練習
19	4	フォトコンテスト作	フォトコン作品、仕上げカット、メイク、ブロー、アイロン仕上げ練習
20	4	フォトコンテスト作	フォトコン作品、仕上げカット、メイク、ブロー、アイロン仕上げ
21	4	フォトコンテスト作	フォトコン作品、仕上げカット、メイク、ブロー、アイロン仕上げ
22	4	フォトコンテスト作	出来上がった作品の撮影技術を学び、カメラによる撮影を行う
23	4	フォトコンテスト作	出来上がった作品の撮影技術を学び、カメラによる撮影を行う
24	4	フォトコンテスト作	出来上がった作品の撮影技術を学び、カメラによる撮影を行う
25	4	フォトコンテスト作	写真を印刷し、テーマや、応募書類を作成する
26	4	フォトコンテスト作	写真を印刷し、テーマや、応募書類を作成する
27	4	フォトコンテスト作	フォトコンテストに向けた、準備、作業工程、結果のまとめ
28	4	カ ッ ト 総 復 習	基本の5パターンのカットの総復習と、応用編のアレンジカットを学ぶ
29	4	カ ッ ト 総 復 習	基本の6パターンのカットの総復習と、応用編のアレンジカットを学ぶ

30	4	カ ッ ト 総 復 習	基本の7パターンのカットの総復習と、応用編のアレンジカットを学ぶ
----	---	-------------	----------------------------------

授 業 科 目	専門教育	エステ	学科・学年	美容科	2年
開 講 期	前期または後期	単位数	4	担当者名	岡田聡江
授 業 の 概 要	エステティックに関する基礎知識とエステティックの本質となる（ソワンエステ）について理解する				
教 育 目 標 (ねらい)	エステティシャンとして社会で働くうえで、基礎的な技術と心遣いを身につける				
評 価 方 法	実技テストと授業への関心度、課題提出を評価する。 実技テスト50%、授業への関心度30%、課題提出20%とし、100点満点に換算し、60点以上で合格とする				

## 授 業 計 画

回	時間	項 目	内 容
1	4	chapter 1. 2	エステティックとは・生命活動とホメオスタシス
2	4	chapter 3	身体のしくみと働きⅠ
3	4	chapter 4. 5	身体のしくみと働きⅡ・皮膚の仕組みと働きⅠ①
4	4	chapter 6	皮膚のしくみと働きⅠ②
5	4	chapter 7. 8	エステティックとカウンセリング・化粧の種類と働き
6	4	chapter 9.	栄養の知識・エステティックにおける衛生と消毒
7	4	chapter 11. 12	エステティックの基礎知識・ボディエステティックの基礎知識
8	4	chapter 13. エステ機器	フェイシャルエステティックの基礎知識・機器の取り扱い事前準備
9	4	フェイシャルトリートメント	クレンジング・フリマツール・ウットランプ・アロミスト・ヴァックスプレイ①
10	4	フェイシャルトリートメント	クレンジング・フリマツール・ウットランプ・アロミスト・ヴァックスプレイ②
11	4	フェイシャルトリートメント	フリマツール・アロミスト・ヴァックスプレイ・バター・仕上げ①
12	4	フェイシャルトリートメント	レディーススウィッグを使用し、プロートレーニング①
13	4	フェイシャルトリートメント	クレンジング・アロミスト・アイオノス・パック・仕上げ①
14	4	フェイシャルトリートメント	クレンジング・アロミスト・アイオノス・パック・仕上げ②
15	4	フェイシャルトリートメント	クレンジング・バター・パック・ペルチェ・仕上げ①
16	4	フェイシャルトリートメント	クレンジング・バター・パック・ペルチェ・仕上げ②
17	4	フェイシャルトリートメント	カルテ記入・カウンセリング・フェイシャルトリートメント①
18	4	フェイシャルトリートメント	カルテ記入・カウンセリング・フェイシャルトリートメント②
19	4	フェイシャルトリートメント	クレンジング・フェイシャルマッサージ・パック・仕上げ①
20	4	フェイシャルトリートメント	クレンジング・フェイシャルマッサージ・パック・仕上げ②
21	4	フェイシャルトリートメント	クレンジング・フェイシャルマッサージ・パック・仕上げ③
22	4	フェイシャルトリートメント	肌別フェイシャルトリートメント・普通肌
23	4	フェイシャルトリートメント	肌別フェイシャルトリートメント・乾燥肌
24	4	フェイシャルトリートメント	肌別フェイシャルトリートメント・シミ肌
25	4	フェイシャルトリートメント	肌別フェイシャルトリートメント・敏感肌
26	4	フェイシャルトリートメント	肌別フェイシャルトリートメント・脂性肌
27	4	フェイシャルトリートメント	肌別フェイシャルトリートメント・ニキビ肌
28	4	フェイシャルトリートメント	ボディマッサージ
29	4	フェイシャルトリートメント	ボディマッサージ
30	4	フェイシャルトリートメント	ボディトリートメント

授 業 科 目	専門教育	着付け		学科・学年	美容科 2年
開 講 期	前期または後期	単位数	4	担当者名	生島雅世子（実務経験） 丹野 益美（実務経験） 鈴木久美子（実務経験）
授 業 の 概 要	美容師として必要な着付けの理論および着付け技術、礼儀作法、立ち居振る舞い等を学ぶ。				
教 育 目 標 (ねらい)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・着付け技術と着付け理論を習得する。※希望者はSBS技能検定3級取得を目指す。</li> <li>・浴衣、留袖（二重太鼓）、中振袖（ふくら雀・文庫・立矢）、女子袴の着付けを習得する。</li> <li>・花嫁衣裳（掛下・打掛）の着付けを体験する。</li> </ul>				
評 価 方 法	実技テストおよび筆記テスト、授業への関心度、課題提出を評価する。 実技テスト60%、授業への関心度20%、課題提出20%とし、100点満点に換算し、60点以上で合格とする。				

## 授 業 計 画

回	時間	項 目	内 容
1	4	着付け総論（理論）	着物および着付けについての基礎的知識の講義
2	4	着付け総論（理論）	SBSテキスト・美容技術理論2・美容実習2で講義
3	4	着付け総論（理論）	SBSテキスト・美容技術理論2・美容実習2で講義
4	4	浴 衣	補整作り、浴衣の畳み方、小物の名称、浴衣・帯・小物の準備の仕方
5	4	浴 衣	体型補整、肌襦袢・浴衣の着付け、伊達締めの締め方、帯（文庫）の結び方
6	4	浴 衣	体型補整、肌襦袢・浴衣の着付け、伊達締めの締め方、帯（文庫）の結び方
7	4	浴 衣	体型補整、肌襦袢・浴衣の着付け、伊達締めの締め方、帯（文庫）の結び方
8	4	浴 衣	浴衣着付け 試験通りに練習（全体のバランスや審査項目のチェック）
9	4	留 袖	留袖の畳み方、体型補整、長襦袢の着付け、留袖の着付け、伊達締めの締め方
10	4	留 袖	留袖の畳み方、体型補整、長襦袢の着付け、留袖の着付け、伊達締めの締め方
11	4	留 袖	留袖の着付け、帯結び（二重太鼓）、帯締め、帯揚げの締め方
12	4	留 袖	レディースウィッグを使用し、ブロートレーニング①
13	4	留 袖	留袖の着付け、二重太鼓、全体のバランス
14	4	留 袖	留袖の着付け、二重太鼓、全体のバランス
15	4	留 袖	留袖の着付け技術総復習、着付け技術についてのチェックテスト
16	4	留袖実技テスト	留袖実技テスト30分 全体のバランスチェック（襟・裾合わせ・体型とお太鼓の調和）
17	4	中 振 袖	中振袖の畳み方、体型補整、長襦袢の着付け、中振袖の着付け
18	4	中 振 袖	体型補整、長襦袢の着付け、中振袖の着付け、伊達締めの締め方、ふくら雀
19	4	浴 衣	浴衣着付け総復習、試験通りに練習・筆記テスト
20	4	SBS技能検定3級試験	学科試験30分、実技準備10分、実技試験（浴衣）20分
21	4	中 振 袖	中振袖の着付け、伊達締めの締め方、ふくら雀、全体のバランス
22	4	中 振 袖	中振袖の着付け、伊達締めの締め方、ふくら雀、全体のバランス
23	4	中 振 袖	中振袖の着付け、伊達締めの締め方、文庫結び（星雲）、全体のバランス
24	4	中 振 袖	中振袖の着付け、伊達締めの締め方、立矢結び（末広）、全体のバランス
25	4	中 振 袖	中振袖の着付け技術総復習、着付け技術についてのチェックテスト
26	4	中振袖実技テスト	中振袖実技テスト40分 全体のバランスチェック（襟・裾合わせ、ふくら雀の調和）
27	4	女 子 袴	袴の畳み方、体型補整、袴の着付け、全体のバランス
28	4	女 子 袴	袴の畳み方、体型補整、袴の着付け、全体のバランス

29	4	花 嫁 衣 裳	掛下の畳み方・体型補整・掛下の着付け（掛下帯・抱え帯・小物など）
30	4	花 嫁 衣 裳	打掛の畳み方、打掛の着付け、花嫁の立ち居振る舞い

授 業 科 目	専門教育	ネイル	学科・学年	美容科 2年
開 講 期	前期または後期	単位数	4	担当者名 遠藤淳子（実務経験） 山内とし子（実務経験）
授 業 の 概 要	ネイルの基本技術と知識を学ぶ			
教 育 目 標 (ねらい)	ジェルネイル（初級）に向けて、ネイル技術と知識を身に付ける			
評 価 方 法	実技テストと授業への関心度、課題提出を評価する。 実技テスト50%、授業への関心度20%、課題提出30%とし、総合計60点以上で合格とする			

## 授 業 計 画

回	時間	項 目	内 容
1	4	実 習 準 備	ネイル実習に入るための用具・用材の準備
2	4	ネ イ ル 基 礎 理 論	ネイルの歴史・爪の構造
3	4	ネ イ ル 実 習	テーブルセッティング・爪の形・ファイリング（チップ使用）
4	4	ネ イ ル 実 習	ネイルケアの基礎技術（消毒・ファイリング・キューティクルクリーム）
5	4	ネ イ ル 理 論 ・ 実 習	理論小テスト・ネイルケア基礎技術（プッシャーの扱い方）
6	4	ネ イ ル 実 習	ネイルケア基礎技術（キューティクルニッパーを持つ・ガーゼクリーン・ルースキューティクル除去）
7	4	ネ イ ル 実 習	ネイルケア基礎技術(消毒からネイルケア)
8	4	ネ イ ル 実 習	ネイルケア基礎技術（消毒からネイルケア）
9	4	ネ イ ル 実 習	ポリッシュカラーリング（水分や油分除去・ベースコート・ポリッシュ・トップコート塗布）
10	4	ネ イ ル 実 習	ポリッシュカラーリング（水分や油分除去・ベースコート・ポリッシュ・トップコート塗布）
11	4	ネ イ ル 実 習	ネイルケア基礎技術（タイム35分）・カラーリング塗布
12	4	ネ イ ル 実 習	レディースウイッグを使用し、ブロートレーニング①
13	4	ネ イ ル 実 習	ジェルカラーリング
14	4	ネ イ ル 実 習	ジェルカラーリング・ジェルアート
15	4	ネ イ ル 理 論 ・ 実 習	ネイル理論小テスト・ポリッシュカラーリング・ジェルカラーリング・ジェルアート
16	4	ネ イ ル 実 習	ネイルケア・ポリッシュカラーリング・ジェルカラーリング・ジェルアート
17	4	ネ イ ル 実 習	ネイルケア・ポリッシュカラーリング・ジェルカラーリング・ジェルアート
18	4	ネ イ ル 実 習	ネイルケア・ポリッシュカラーリング・ジェルカラーリング・ジェルアート
19	4	ネ イ ル 実 習	ネイルケア・ポリッシュカラーリング・ジェルカラーリング・ジェルアート
20	4	ネ イ ル 実 習	ネイルケア・ポリッシュカラーリング・ジェルカラーリング・ジェルアート
21	4	ネ イ ル 実 習	ジェルネイル（初級）試験に適應した技術テスト
22	4	ネ イ ル 実 習	検定試験に向けて、ネイルケア（35分）・ポリッシュカラーリング・ジェルカラーリング・ジェルアート（60分）
23	4	ネ イ ル 実 習	検定試験に向けて、ネイルケア（35分）・ポリッシュカラーリング・ジェルカラーリング・ジェルアート（60分）
24	4	ネ イ ル 実 習	検定試験に向けて、ネイルケア（35分）・ポリッシュカラーリング・ジェルカラーリング・ジェルアート（60分）
25	4	ネ イ ル 実 習	検定試験に向けて、ネイルケア（35分）・ポリッシュカラーリング・ジェルカラーリング・ジェルアート（60分）
26	4	ネ イ ル 実 習	検定試験に向けて、ネイルケア（35分）・ポリッシュカラーリング・ジェルカラーリング・ジェルアート（60分）
27	4	ネ イ ル 理 論 ・ 実 習	検定試験対策テスト・ジェルアート技術
28	4	ネ イ ル 実 習	フラットアート・リペア技術
29	4	課 題 作 品 制 作	フラットアート・ジェルアート



授 業 科 目	専門教育	カラーリング		学科・学年	美容科 2年
開 講 期	後期	単位数	4	担当者名	白畑亨（実務経験） 川村こずえ（実務経験）
授 業 の 概 要	美容師として必須のカラーリング技術を基本から応用まで学ぶ				
教 育 目 標 (ねらい)	カラーリングの基礎技術を学び、薬剤の知識を身につけることにより、就職後のサロンワークに役立つ技術を身につける				
評 価 方 法	実技テストと授業への関心度、課題提出を評価する。 実技テスト50%、授業への関心度20%、課題提出30%とし、100点満点に換算し、60点以上で合格とする				

## 授 業 計 画

回	時間	項 目	内 容
1	4	実 習 準 備	ウィッグカット
2	4	実 習 準 備	ウィッグカット
3	4	ソリッドカラー技術	正しい姿勢ハケの使い方など塗布の基本技術
4	4	ソリッドカラー技術	正しい姿勢ハケの使い方など塗布の基本技術
5	4	ウィービング技術	ホイルワークなどの基礎技術
6	4	ウィービング技術	ホイルワークなどの基礎技術
7	4	カラーリング実習	ソリッドカラー、ウィービング
8	4	カラーリング実習	ソリッドカラー、ウィービング
9	4	カラーリング実習	ソリッドカラー、ウィービング
10	4	カラーリング実習	ソリッドカラー、ウィービング
11	4	カラーリング実習	ソリッドカラー、ウィービング
12	4	デモンストレーション	レディースウィッグを使用し、ブロートレーニング①
13	4	カラーリング実習	ソリッドカラー、ウィービング
14	4	カラーリング実習	ソリッドカラー、ウィービング
15	4	カラーリング実習	ソリッドカラー、ウィービング
16	4	カラーリング実習	ソリッドカラー、ウィービング
17	4	カラーリング実習	ソリッドカラー、ウィービング
18	4	カラーリング実習	ソリッドカラー、ウィービング
19	4	カラーリング実習	ソリッドカラー、ウィービング
20	4	カラーリング実習	ソリッドカラー、ウィービング
21	4	カラーリング実習	ソリッドカラー、ウィービング
22	4	カラーリング実習	ソリッドカラー、ウィービング
23	4	カ ウ ン セ リ ン グ	相モデルカラーリング準備
24	4	カ ウ ン セ リ ン グ	相モデルカラーリング準備
25	4	相 モ デ ル 技 術	相モデルカラーリング
26	4	相 モ デ ル 技 術	相モデルカラーリング
27	4	相 モ デ ル 技 術	相モデルカラーリング
28	4	グ ル ー プ ワ ー ク	サロンの現場で起こるトラブルシューティング
29	4	グ ル ー プ ワ ー ク	サロントラブルの応用及び検証

30	4	実 技 テ ス ト	ソリッドカラー、ウィービング
----	---	-----------	----------------

授 業 科 目	専門教育	メイク		学科・学年	美容科 2年
開 講 期	後期	単位数	4	担当者名	藤沢奈実子（実務経験） 平山恭子（実務経験） 櫻井江利子（実務経験）
授 業 の 概 要	美容師として必須のメイク技術を基本から応用まで学ぶ				
教 育 目 標 (ねらい)	スキンケアからバリエーションなどメイクアップの知識を身につける まつ毛エクステンションにおける衛生と目のパーツにて装着を行なう技術を身につける				
評 価 方 法	実技テストと授業への関心度、課題提出を評価する。 実技テスト50%、授業への関心度20%、課題提出30%とし、100点満点に換算し、60点以上で合格とする				

## 授 業 計 画

回	時間	項 目	内 容
1	4	メイクアップ理論	道具の使用方法 目的と効果
2	4	マ ッ サ ー ジ	オイル塗布 乳化 拭き取り
3	4	ベ ー ス メ イ ク	ローショントーン、クリームトーン、アンダーベース、コンシーラー
4	4	ポ イ ン ト メ イ ク	ファンデーション、ポイントメイク、クレンジング
5	4	ナ チ ュ ラ ル メ イ ク	ベースメイク、アイメイク、チーク、リップ
6	4	技 術 の 復 習	チェンジメイク、アイブローペンシルの削り方
7	4	バリエーションメイク	キュートメイク
8	4	バリエーションメイク	クールメイク
9	4	バリエーションメイク	和装メイク
10	4	バリエーションメイク	ブライダルメイク
11	4	筆 記 試 験	UTOWAテスト 三善テスト
12	4	実 技 試 験	レディースウィッグを使用し、ブロートレーニング①
13	4	特 殊 メ イ ク	傷メイク
14	4	特 殊 メ イ ク	ガイコツメイク
15	4	特 殊 メ イ ク	ハロウィンメイク
16	4	特 殊 メ イ ク	マリリンモンローメイク
17	4	特 殊 メ イ ク	オードリヘップバーンメイク
18	4	ス テ ー ジ メ イ ク	宝塚メイク
19	4	ス テ ー ジ メ イ ク	ピエロメイク
20	4	ス テ ー ジ メ イ ク	歌舞伎メイク
21	4	ス テ ー ジ メ イ ク	ドールメイク
22	4	ス テ ー ジ メ イ ク	キャッツメイク
23	4	エ ア ー ブ ラ シ	タトゥー (花)
24	4	エ ア ー ブ ラ シ	タトゥー (蝶)
25	4	エ ア ー ブ ラ シ	切り絵 (自主制作)
26	4	まつ毛エクステンション	衛生
27	4	まつ毛エクステンション	アンダーテープ
28	4	まつ毛エクステンション	相モデル アンダーテープ

29	4	まつ毛エクステンション	つけまつ毛に装着
30	4	まつ毛エクステンション	つけまつ毛に装着

授 業 科 目	専門教育 クリエイティブセット			学科・学年	美容科 2年
開 講 期	後期	単位数	4	担当者名	川村重夫（実務経験）
授 業 の 概 要	主にドライヤーを使用してのセットを中心にし、まとめ髪まで対応。				
教 育 目 標 (ねらい)	セットの基本となるスタイルを習得する。 総合的なクオリティを向上させ、トータル技術を身につける。				
評 価 方 法	1、作品の仕上がり評価（バランス、課題の表現ができているか等）50% 2、授業への取り組み評価（授業態度、取り組みの姿勢）50% 総合計60点以上で合格とする。				
授 業 計 画					
回	時間	項 目	内 容		
1	4	ドライヤーセット	セットに関する知識全般。		
2	4	ドライヤーセット	クラシカルバックスタイルを目標に、各セクションごとにトレーニング		
3	4	ドライヤーセット	後頭部～クラウンのボリュームの出し方		
4	4	ドライヤーセット	トップ～フロントのボリュームや、抑える技術の実習		
5	4	ドライヤーセット	ボリュームを出す技術の実習		
6	4	ドライヤーセット	サイドの毛流れの理解、コーナー部分のボリュームの出し方とつながり		
7	4	ドライヤーセット	各セクションの復習		
8	4	ドライヤーセット	全体を通してスタイルを作成		
9	4	ドライヤーセット	全体を通してスタイルを作成		
10	4	ドライヤーセット	タイムを定め、スタイルを作成		
11	4	ドライヤーセット	タイムを定め、スタイルを作成		
12	4	ワンレングス	レディースウィッグを使用し、ブロートレーニング①		
13	4	ワンレングス	レディースウィッグを使用し、ブロートレーニング②		
14	4	レイヤー	レイヤースタイルをカットし、実際にセット①		
15	4	レイヤー	ロールブラシを使用し、操作方法確認		
16	4	パーマセット	パーマウェーブを実際にかけ、スタイルを作成 レディース①		
17	4	パーマセット	パーマウェーブを実際にかけ、スタイルを作成 レディース②		
18	4	パーマセット	パーマウェーブを実際にかけ、スタイルを作成 メンズ①		
19	4	パーマセット	パーマウェーブを実際にかけ、スタイルを作成 メンズ②		
20	4	まとめ髪	編み込み等を含め、数スタイルを学ぶ①		
21	4	まとめ髪	編み込み等を含め、数スタイルを学ぶ②		
22	4	まとめ髪	編み込み等を含め、数スタイルを学ぶ③		
23	4	まとめ髪	編み込み等を含め、数スタイルを学ぶ④		
24	4	ヘアデザイン	カラーリングなど、デザインするために必要な知識①		
25	4	ヘアデザイン	カラーリングなど、デザインするために必要な知識②		
26	4	ヘアデザイン	自分でヘアデザインし、カット・セット技術を確認。ヘアカラーを含め、自分の創造力を高める		
27	4	ヘアデザイン	自分でヘアデザインし、カット・セット技術を確認。ヘアカラーを含め、自分の創造力を高める		
28	4	ヘアデザイン	自分でヘアデザインし、カット・セット技術を確認。ヘアカラーを含め、自分の創造力を高める		
29	4	ヘアデザイン	自分でヘアデザインし、カット・セット技術を確認。ヘアカラーを含め、自分の創造力を高める		
30	4	ヘアデザイン	自分でヘアデザインし、カット・セット技術を確認。ヘアカラーを含め、自分の創造力を高める		

授 業 科 目	理容理論			学科・学年	理 容 科 修得者課程
開 講 期	通年	単位数	4	担当者名	後藤和幸（実務経験）
授 業 の 概 要	理容の意義を十分に理解し、理容師としての基礎知識を学ぶ。				
教 育 目 標 （ ね ら い ）	理容師に必要な理論と国家試験に必要な理論を身につける。 国家試験合格レベルの知識を習得する。				
評 価 方 法	期末考査、授業への関心度、課題提出を評価する。 期末考査50%、授業への関心度20%、課題提出30%とし、総合計60点以上で合格とする				

## 授 業 計 画

回	時間	項 目	内 容
1	2	理容技術を学ぶにあたって	理容技術理論を学ぶにあたって
2	2	理容技術の基礎	姿勢・トレーニング
3	2	理容用具	理容と用具・理容用具と衛生
4	2	理容用具	理容刃物・シザーズ
5	2	理容用具	レザー・クリッパー
6	2	理容用具	コーム・ブラシ
7	2	ヘアデザイン	ヘアスタイリングとデザイン
8	2	ヘアデザイン	ヘアスタイル
9	2	ヘアカッティング	ヘアカッティングを学ぶにあたって、観測法
10	2	ヘアカッティング	ヘアカッティングの基本原則
11	2	ヘアカッティング	ヘアカッティングの一般的手順
12	2	ヘアカッティング	スタンダードヘアの概要①
13	2	ヘアカッティング	スタンダードヘアの用具の持ち方と操作
14	2	ヘアカッティング	スタンダードヘアのカット技法①
15	2	ヘアカッティング	スタンダードヘアのカット技法②
16	2	ヘアカッティング	スタンダードヘアのスタイル別カットシステム①
17	2	ヘアカッティング	デザインヘア
18	2	ヘアカッティング	デザインヘアのスタイル別カットシステム①
19	2	ヘアカッティング	デザインヘアカットの一例
20	2	ヘアセッティング	ヘアセッティングを学ぶにあたって 種類
21	2	ヘアセッティング	ヘアセッティングの実際
22	2	ヘアセッティング	レディースヘアのスタイリング
23	2	パーマメントセット	パーマメントウエービング ワインディング①
24	2	パーマメントセット	コールド二浴式パーマメントウエーブの一例
25	2	パーマメントセット	アイアニング①
26	2	ヘアカラーリング	ヘアカラーリングの歴史 色彩の原理
27	2	ヘアカラーリング	染毛剤の種類と原理
28	2	ヘアカラーリング	染毛剤の安全性と取扱い上の注意
29	2	ヘアカラーリング	ヘアカラーリング技術のプロセス
30	2	ヘアカラーリング	ヘアカラーリングの一例

31	2	シ ェ ー ビ ン グ	シェービングを学ぶにあたって
32	2	シ ェ ー ビ ン グ	シェービングの要件
33	2	シ ェ ー ビ ン グ	シェービングの種類
34	2	シ ェ ー ビ ン グ	シェービングの基本技術と要領①
35	2	シ ェ ー ビ ン グ	シェービングのプロセス
36	2	シ ェ ー ビ ン グ	メンズフェイスシェービング
37	2	シ ェ ー ビ ン グ	メンズネックシェービング
38	2	シ ェ ー ビ ン グ	メンズフェイスデザイン①
39	2	シ ェ ー ビ ン グ	レディースシェービング
40	2	理容エステティック	スキンケア
41	2	理容エステティック	フェイシャルケア
42	2	理容エステティック	ハンドケア
43	2	理容エステティック	フットケア～アロマセラピー
44	2	理 容 ク リ ニ ッ ク	理容クリニックを学ぶにあたって～ヘアクリニックのカウンセリング
45	2	理 容 ク リ ニ ッ ク	ヘアケアとスカルプケア
46	2	理 容 ク リ ニ ッ ク	毛髪の基礎知識
47	2	理 容 ク リ ニ ッ ク	ヘアチェック（毛髪診断）
48	2	理 容 ク リ ニ ッ ク	スカルプチェック（頭皮診断）
49	2	理 容 ク リ ニ ッ ク	ヘアクリニックの用具～ウィッグ
50	2	シャンプーイング & リンシング	シャンプーイング
51	2	シャンプーイング & リンシング	シャンプーイングの方法
52	2	シャンプーイング & リンシング	シャンプーイングの技法
53	2	シャンプーイング & リンシング	リンシング
54	2	理 容 マ ッ サ ー ジ	マッサージの意義と効果
55	2	理 容 マ ッ サ ー ジ	ヘッドマッサージの一例
56	2	理 容 マ ッ サ ー ジ	クリニックマッサージの一例
57	2	ヘアトリートメント	ヘアトリートメントの種類～ヘアトリートメントの一例
58	2	スカルプトリートメント	スカルプトリートメントの種類～正常な頭皮に対する処置
59	2	ま と め	テキストIIの復習・テスト
60	2	期 末 考 査	前期・後期各1時間

授 業 科 目	理容実習			学科・学年	理容科 修得者課程
開 講 期	通年	単位数	23	担当者名	川村重夫（実務経験）
授 業 の 概 要	理容の基礎的技術を実習で学び、実技の奥深さを知る				
教 育 目 標 (ねらい)	理容師に必要な実技と、国家試験に必要な実技課題を学ぶ				
評 価 方 法	実技テストと授業への関心度、課題提出を評価する。 実技テスト50%、授業への関心度20%、課題提出30%とし、総合計60点以上で合格とする				

## 授 業 計 画

月	カット	シェービング及び顔面処置	整髪	シャンプー、マツサージ	専科	その他	備考
4	○	○	○	○			
5	○	○	○	○	○		
6	○	○	○	○	○	○	理容クリニック
7	○	○	○	○	○	○	カラーリング
8	○	○	○	○	○	○	カラーリング
9	○	○	○	○	○	○	カラーリング
10	○	○	○	○	○	○	ドライヤーセット
11	○	○	○	○	○	○	ドライヤーセット
12	○	○	○	○	○	○	ドライヤーセット
1	○	○	○	○		○	ドライヤーセット
2	○	○	○	○		○	ドライヤーセット
3							
合計時数	210	170	70	80	40	110	

授 業 科 目	専門教育			カット I	学科・学年	理容科 修得者課程
開 講 期	前期	単位数	4	担当者名	早坂精徳（実務経験） 川村重夫（実務経験）	
授 業 の 概 要	学校の授業にある基本をベースに、少し応用を加えながらトレンドを意識したサロンスタイルを作り上げることで、理容の仕事の楽しさと可能性を感じてもらう。					
教 育 目 標 (ねらい)	・カットによるスタイルの技能を身につける。・コーミングの大切さを身につける。 ・個性や感性を活かし、自由にスタイリングできる技術を身につける。					
評 価 方 法	1、作品の仕上がり評価（バランス、課題の表現ができているか等）50% 2、授業への取り組み評価（授業態度、取り組みの姿勢）50% 総合計60点以上で合格とする。					
授 業 計 画						
回	時間	項 目	内 容			
1	4	器具の使用 方法	器具の基本操作等。			
2	4	基 本 姿 勢	カッティングにおける姿勢の大切さについて。実際。			
3	4	デ ザ イン ヘ ア	カットの事前準備として、ブロッキング技術の実習。			
4	4	デ ザ イン ヘ ア	ワンレングスカット①			
5	4	デ ザ イン ヘ ア	ワンレングスカット②			
6	4	デ ザ イン ヘ ア	ワンレングスカット③			
7	4	デ ザ イン ヘ ア	インサイドグラデーション			
8	4	デ ザ イン ヘ ア	ワンレングスカットの復習と反復。			
9	4	デ ザ イン ヘ ア	アウトサイドグラデーションカット①			
10	4	デ ザ イン ヘ ア	アウトサイドグラデーションカット②			
11	4	デ ザ イン ヘ ア	スクエアカット①			
12	4	デ ザ イン ヘ ア	スクエアカット②			
13	4	スタンダードヘア	ミディアムヘア ①	クリッパーの操作方法。		
14	4	スタンダードヘア	ミディアムヘア ②	クリッパーの操作方法。		
15	4	デ ザ イン ヘ ア	ワンレングスカット 復習。			
16	4	デ ザ イン ヘ ア	レイヤーカット①			
17	4	デ ザ イン ヘ ア	サロンメンズスタイル(外部講師)①			
18	4	デ ザ イン ヘ ア	サロンメンズスタイル(外部講師)②			
19	4	デ ザ イン ヘ ア	レイヤーカット②			
20	4	デ ザ イン ヘ ア	セიმレイヤーカット			
21	4	スタンダードヘア	ミディアムヘア・ハーフロング①			
22	4	スタンダードヘア	ミディアムヘア・ハーフロング②			
23	4	デ ザ イン ヘ ア	全理連レディーススタイル(外部講師)①			
24	4	デ ザ イン ヘ ア	全理連レディーススタイル(外部講師)②			
25	4	スタンダードヘア	ミディアムヘア・ハーフロング③			
26	4	デ ザ イン ヘ ア	サロンメンズスタイル ベリーショート(外部講師)			
27	4	デ ザ イン ヘ ア	色々なカット技法と毛量調整			
28	4	デ ザ イン ヘ ア	レザーカット等			
29	4	デ ザ イン ヘ ア	オリジナルスタイルの創作と発表。①			
30	4	デ ザ イン ヘ ア	オリジナルスタイルの創作と発表。②			



授 業 科 目	専門教育	カットII		学科・学年	理容科 修得者課程
開 講 期	後期	単位数	4	担当者名	杉本智亜樹（実務経験） 後藤和幸（実務経験）
授 業 の 概 要	サロンワークに直結した内容を学び、理容師の仕事の魅力を知る。				
教 育 目 標 (ねらい)	現代のトレンドに合った技術の習得、技術の活かし方を学習する。				
評 価 方 法	授業最終日のコンテスト、授業の関心態度を評価する。 試験60%、授業への関心態度40%とし、100点満点に換算し、60点以上で合格とする。				

## 授 業 計 画

回	時間	項 目	内 容
1	4	ミディアムレイヤー	カットシステムの理解と実際
2	4	セイムレイヤーカット	カットシステムの理解と実際
3	4	ショートレイヤー	カットシステムの理解と実際
4	4	グラデーションボブ	カットシステムの理解と実際
5	4	グラデーションボブ	カラーリング実施
6	4	ロングレイヤー	トレンドに合わせたスタイルのカットとスタイリング
7	4	グ ラ ボ ブ	仕上げとセット
8	4	システムマッシュレイヤー	トレンドに合わせたミディアムのカットとスタイリング
9	4	スクエアカット	カットシステムの理解と実際
10	4	ミディアム事前カット	カットの実際 レディースミディアムカット
11	4	ミディアムカット	カットとぼかし(直し)セット
12	4	ハーフロング ブロース	カットとぼかし(直し)
13	4	ポ ブ	トレンドに合わせたボブのカットとスタイリング
14	4	ブ ロ ー ス	カットとぼかし(直し)セット
15	4	シ ョ ー ト ボ ブ	トレンドに合わせたショートボブのカットとスタイリング
16	4	ミディアム事前カット	カットの実際 レディースミディアムカット
17	4	ミディアムカット	カットとぼかし(直し)セット
18	4	ハーフロング ブロース	カットとぼかし(直し)セット
19	4	ブ ロ ー ス	カットとぼかし(直し)セット
20	4	クラシカルカット	カットの実際
21	4	クラシカルカット	カット 仕上げ
22	4	フ リ ー ス タ イ ル	フリー作品作り(ミニコンテスト)
23	4	フ リ ー ス タ イ ル	フリー作品作り(ミニコンテスト)
24	4	フ リ ー ス タ イ ル	フリー作品作り(ミニコンテスト)
25	4	フ リ ー ス タ イ ル	フリー作品作り(ミニコンテスト)
26	4	デザインコンテスト	学習してきたことを活かしてデザインカット
27	4	クラシカルバック	カット仕上げ セット
28	4	ミディアム事前カット	カットの実際 レディースミディアムカット
29	4	ミディアムカット	カットとぼかし(直し)セット(テスト)

30	4	フリーカット	相モデルでの実施
----	---	--------	----------

授 業 科 目	美容理論			学科・学年	美容科 修得者課程
開 講 期	通年	単位数	4	担当者名	川村こずえ（実務経験）
授 業 の 概 要	美容の意義を十分に理解し、美容師としての基礎知識を学ぶ。				
教 育 目 標 （ねらい）	美容師に必要な理論を身につける 国家試験合格レベルの理論の知識を習得する。				
評 価 方 法	期末考査、授業への関心度、課題提出を評価する。 期末考査50%、授業への関心度20%、課題提出30%とし、100点満点に換算し、60点以上で合格とする				

## 授 業 計 画

回	時間	項 目	内 容
1	2	美容技術理論を学ぶにあたって	美容理論と技術
2	2	美容技術理論を学ぶにあたって	美容技術における作業姿勢と人体各部の名称
3	2	美 容 用 具	美容の道具
4	2	美 容 用 具	美容の器具
5	2	美 容 用 具	美容の機械
6	2	美 容 用 具	美容の用具の種類と取り扱い
7	2	シ ャ ン プ ー	シャンプーング総論
8	2	シ ャ ン プ ー	サイドシャンプー
9	2	シ ャ ン プ ー	バックシャンプー
10	2	シ ャ ン プ ー	リンス・コンディショナー
11	2	シ ャ ン プ ー	トリートメント
12	2	シ ャ ン プ ー	ヘットスパ
13	2	ヘ ア デ ザ イ ン	美容とデザイン
14	2	ヘ ア デ ザ イ ン	錯覚現象を美容に生かそう
15	2	ヘ ア デ ザ イ ン	デザインの要素
16	2	ヘ ア デ ザ イ ン	デザインの要素原理①
17	2	ヘ ア デ ザ イ ン	デザインの要素原理②
18	2	ヘアカットイング	ヘアカットイングとは
19	2	ヘアカットイング	シザーズとレザーの取り扱い・美容刃物
20	2	ヘアカットイング	ヘアカットイングの正しい姿勢・ブロッキング
21	2	ヘアカットイング	ヘアカットイングの基礎理論・ベーシックなカット
22	2	ヘアカットイング	シザーズによるカット技法
23	2	ヘアカットイング	レザーによるカット技法
24	2	パーマメントウェーブ	パーマメントウェーブの歴史
25	2	パーマメントウェーブ	パーマメントウェーブの理論・パーマ剤の分類
26	2	パーマメントウェーブ	パーマ剤に関する注意事項
27	2	パーマメントウェーブ	パーマメントウェーブ技術
28	2	パーマメントウェーブ	ワインディングのバリエーション
29	2	パーマメントウェーブ	縮毛矯正（高温整髪用アイロン使用）
30	2	ヘアセッティング	ヘアセッティングとは

31	2	ヘアセッティング	ヘアパーティング
32	2	ヘアセッティング	ヘアシェーピング
33	2	ヘアセッティング	ヘアカーリング
34	2	ヘアセッティング	ヘアウェーピング
35	2	ヘアセッティング	ローラーカーリング
36	2	ヘアセッティング	ブロードライ
37	2	ヘアセッティング	アイロンセッティング
38	2	ヘアセッティング	バックコーミング
39	2	ヘアセッティング	アップスタイル ウィッグとヘアピース
40	2	ヘアカラーリング	ヘアカラーリング概論・ヘアカラーの種類
41	2	ヘアカラーリング	ヘアカラーのタイプ別特徴・染毛のメカニズム
42	2	ヘアカラーリング	色の基本・毛髪のレベルとアンダートーン
43	2	ヘアカラーリング	パッチテスト・染毛剤使用時の注意・ヘアカラーリングの道具
44	2	ヘアカラーリング	酸化染毛剤、染毛料の技術手順・ヘアブリーチ
45	2	エステティック	エステティック概論 皮膚の生理と構造
46	2	エステティック	カウンセリング 美容におけるマッサージ理論
47	2	エステティック	フェイシャルケア技術 フェイシャル及びデコルテマッサージ
48	2	エステティック	フェイシャルケアパック ボディケア技術
49	2	エステティック	ボディマッサージ 脱毛ケア技術
50	2	メイクアップ	メイクアップ概論 顔の形態学的な観察
51	2	メイクアップ	メイクアップと色彩 皮膚の生理と構造
52	2	メイクアップ	メイクアップの道具 スキンケア ベースメイクアップ
53	2	メイクアップ	アイメイクアップ アイブロウメイクアップ
54	2	メイクアップ	リップメイクアップ ブラッシュオンメイクアップ
55	2	日本髪	日本髪の由来 日本髪の各部の名称 日本髪の種類と特徴
56	2	日本髪	日本髪の調和 日本髪の装飾品 日本髪の結髪道具
57	2	日本髪	日本髪の結髪技術 日本髪の手入れ かつら
58	2	着付けの理論と技術	着付けの目的 礼装 着物と季節 着物のいろいろ 帯
59	2	着付けの理論と技術	小物 着物各部の名称 着物のたたみ方 一般的要領
60	2	期末考査	前期・後期各1時間

授 業 科 目	美容実習			学科・学年	美容科 修得者課程
開 講 期	通年	単位数	23	担当者名	川村こずえ（実務経験）
授 業 の 概 要	美容の基礎的技術を実習で学び、実技の奥深さを知る				
教 育 目 標 （ねらい）	美容師に必要な実技と、国家試験に必要な実技課題を学ぶ				
評 価 方 法	実技テストと授業への関心度、課題提出を評価する。 実技テスト60%、授業への関心度20%、課題提出20%とし、100点満点に換算し、60点以上で合格とする				

## 授 業 計 画

月	シャンプー	カット	ワインディング	セッティング	専科	その他	備考
4	○	○	○	○			ヘッドスパ
5	○	○	○	○	○		ヘッドスパ
6	○	○	○	○	○		ヘッドスパ
7	○	○	○	○	○		ヘッドスパ、カラーリング
8	○	○	○	○	○		ヘッドスパ、カラーリング
9	○	○	○	○	○		ヘッドスパ、カラーリング
10	○	○	○	○	○		ヘッドスパ、カラーリング
11	○	○	○	○	○		ヘッドスパ、カラーリング
12	○	○	○	○	○		ヘッドスパ、カラーリング
1	○	○	○	○		○	着付け
2	○	○	○	○		○	ネイル、メイク
3		○	○	○			
合計時数	130	140	140	140	40	100	

授 業 科 目	専門教育	着付け		学科・学年	美容科 修得者課程
開 講 期	前期	単位数	4	担当者名	生島雅世子（実務経験） 丹野 益美（実務経験） 鈴木久美子（実務経験）
授 業 の 概 要	美容師として必要な着付けの理論および着付け技術、礼儀作法、立ち居振る舞い等を学ぶ。				
教 育 目 標 (ねらい)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・着付け技術と着付け理論を習得する。※希望者はSBS技能検定3級取得を目指す。</li> <li>・浴衣、留袖（二重太鼓）、中振袖（ふくら雀・文庫・立矢）、女子袴の着付けを習得する。</li> <li>・花嫁衣裳（掛下・打掛）の着付けを体験する。</li> </ul>				
評 価 方 法	実技テストおよび筆記テスト、授業への関心度、課題提出を評価する。 実技テスト60%、授業への関心度20%、課題提出20%とし、100点満点に換算し、60点以上で合格とする。				

## 授 業 計 画

回	時間	項 目	内 容
1	4	着付け総論（理論）	着物および着付けについての基礎的知識の講義
2	4	着付け総論（理論）	SBSテキスト・美容技術理論2・美容実習2で講義
3	4	着付け総論（理論）	SBSテキスト・美容技術理論2・美容実習2で講義
4	4	浴 衣	補整作り、浴衣の畳み方、小物の名称、浴衣・帯・小物の準備の仕方
5	4	浴 衣	体型補整、肌襦袢・浴衣の着付け、伊達締めの締め方、帯（文庫）の結び方
6	4	浴 衣	体型補整、肌襦袢・浴衣の着付け、伊達締めの締め方、帯（文庫）の結び方
7	4	浴 衣	体型補整、肌襦袢・浴衣の着付け、伊達締めの締め方、帯（文庫）の結び方
8	4	浴 衣	浴衣着付け 試験通りに練習（全体のバランスや審査項目のチェック）
9	4	留 袖	留袖の畳み方、体型補整、長襦袢の着付け、留袖の着付け、伊達締めの締め方
10	4	留 袖	留袖の畳み方、体型補整、長襦袢の着付け、留袖の着付け、伊達締めの締め方
11	4	留 袖	留袖の着付け、帯結び（二重太鼓）、帯締め、帯揚げの締め方
12	4	留 袖	留袖の着付け、二重太鼓、全体のバランス
13	4	留 袖	留袖の着付け、二重太鼓、全体のバランス
14	4	留 袖	留袖の着付け、二重太鼓、全体のバランス
15	4	留 袖	留袖の着付け技術総復習、着付け技術についてのチェックテスト
16	4	留袖実技テスト	留袖実技テスト30分 全体のバランスチェック（襟・裾合わせ・体型とお太鼓の調和）
17	4	中 振 袖	中振袖の畳み方、体型補整、長襦袢の着付け、中振袖の着付け
18	4	中 振 袖	体型補整、長襦袢の着付け、中振袖の着付け、伊達締めの締め方、ふくら雀
19	4	浴 衣	浴衣着付け総復習、試験通りに練習・筆記テスト
20	4	SBS技能検定3級試験	学科試験30分、実技準備10分、実技試験（浴衣）20分
21	4	中 振 袖	中振袖の着付け、伊達締めの締め方、ふくら雀、全体のバランス
22	4	中 振 袖	中振袖の着付け、伊達締めの締め方、ふくら雀、全体のバランス
23	4	中 振 袖	中振袖の着付け、伊達締めの締め方、文庫結び（星雲）、全体のバランス
24	4	中 振 袖	中振袖の着付け、伊達締めの締め方、立矢結び（末広）、全体のバランス
25	4	中 振 袖	中振袖の着付け技術総復習、着付け技術についてのチェックテスト
26	4	中振袖実技テスト	中振袖実技テスト40分 全体のバランスチェック（襟・裾合わせ、ふくら雀の調和）
27	4	女 子 袴	袴の畳み方、体型補整、袴の着付け、全体のバランス
28	4	女 子 袴	袴の畳み方、体型補整、袴の着付け、全体のバランス
29	4	花 嫁 衣 裳	掛下の畳み方・体型補整・掛下の着付け（掛下帯・抱え帯・小物など）

30	4	花 嫁 衣 裳	打掛の畳み方、打掛の着付け、花嫁の立ち居振る舞い
----	---	---------	--------------------------

授 業 科 目	専門教育	アップ	学科・学年	美容科	修得者課程
開 講 期	前期	単位数	4	担当者名	平山恵子 金野夏奈
授 業 の 概 要	美容師として、サロンで実践できる基本、応用技術習得を目的とする				
教 育 目 標 (ねらい)	基本を重点とし、時代の流れを取り入れながら、伝統的な日本髪を最終目標とする				
評 価 方 法	実技テストと授業への関心度、課題提出を評価する。 実技テスト50%、授業への関心度20%、課題提出30%とし、100点満点に換算し、60点以上で合格とする				

## 授 業 計 画

回	時間	項 目	内 容
1	4	ア ッ プ 理 論	用具の使用方法和目的
2	4	一 束 結 び	ゴムの結び方,ピンの止め方
3	4	編 み 込 み	三つ編み(表・裏)四つ編み(丸・平)
4	4	シ ニ ョ ン	シニヨン(面・毛先の扱い方)
5	4	編み込みスタイル	三つ編み込み(表)
6	4	編み込みスタイル	三つ編み込み(裏)
7	4	編み込みスタイル	ツイストのスタイル
8	4	編み込みスタイル	フィッシュボーン
9	4	編み込みスタイル	かご編み
10	4	ハ ー フ ス タ イ ル	ハーフアップ,すき毛の作り方
11	4	ハ ー フ ス タ イ ル	ハーフアップ
12	4	ハ ー フ ス タ イ ル	ハーフアップ
13	4	ハ ー フ ス タ イ ル	ハーフアップ
14	4	ハ ー フ ス タ イ ル	ハーフアップ
15	4	夜 会 巻 き	夜会巻きスタイル
16	4	夜 会 巻 き	本夜会スタイル
17	4	夜 会 巻 き	重ね夜会
18	4	夜 会 巻 き	抱き込み夜会
19	4	夜 会 巻 き	抱き込み夜会
20	4	オリジナルスタイル	ロールシニヨン
21	4	オリジナルスタイル	ロールシニヨン
22	4	オリジナルスタイル	ギブソンタック
23	4	オリジナルスタイル	ブレードスタイル
24	4	オリジナルスタイル	ブレードスタイル
25	4	フ リ ー ス タ イ ル	創作アップ
26	4	日 本 髪	日本髪の練習
27	4	日 本 髪	日本髪の練習
28	4	日 本 髪	日本髪の練習
29	4	日 本 髪	日本髪の練習
30	4	日 本 髪	日本髪のテスト

授 業 科 目	専門教育	メイク		学科・学年	美容科 修得者課程
開 講 期	後期	単位数	4	担当者名	藤沢奈実子（実務経験） 平山恭子（実務経験） 櫻井江利子（実務経験）
授 業 の 概 要	美容師として必須のメイク技術を基本から応用まで学ぶ				
教 育 目 標 (ねらい)	スキンケアからバリエーションなどメイクアップの知識を身につける まつ毛エクステンションにおける衛生と目のパーツにて装着を行なう技術を身につける				
評 価 方 法	実技テストと授業への関心度、課題提出を評価する。 実技テスト50%、授業への関心度20%、課題提出30%とし、100点満点に換算し、60点以上で合格とする				
授 業 計 画					
回	時間	項 目	内 容		
1	4	メイクアップ理論	道具の使用方法 目的と効果		
2	4	マ ッ サ ー ジ	オイル塗布 乳化 拭き取り		
3	4	ベ ー ス メ イ ク	ローショントーンニング	クリームトーンニング	アンダー
4	4	ポ イ ン ト メ イ ク	ファンデーション	ポイントメイク	クレンジ
5	4	ナ チ ュ ラ ル メ イ ク	ベースメイク	アイメイク	チーク リップ
6	4	技 術 の 復 習	チェンジメイク	アイブローペンシルの削り方	
7	4	バリエーションメイク	キュートメイク		
8	4	バリエーションメイク	クールメイク		
9	4	バリエーションメイク	和装メイク		
10	4	バリエーションメイク	ブライダルメイク		
11	4	筆 記 試 験	UTOWAテスト	三善テスト	
12	4	実 技 試 験	ナチュラルメイク チェンジメイク		
13	4	特 殊 メ イ ク	傷メイク		
14	4	特 殊 メ イ ク	ガイコツメイク		
15	4	特 殊 メ イ ク	ハロウィンメイク		
16	4	特 殊 メ イ ク	マリリンモンローメイク		
17	4	特 殊 メ イ ク	オードリヘップバーンメイク		
18	4	ス テ ー ジ メ イ ク	宝塚メイク		
19	4	ス テ ー ジ メ イ ク	ピエロメイク		
20	4	ス テ ー ジ メ イ ク	歌舞伎メイク		
21	4	ス テ ー ジ メ イ ク	ドールメイク		
22	4	ス テ ー ジ メ イ ク	キャッツメイク		
23	4	エ ア ー ブ ラ シ	タトゥー (花)		
24	4	エ ア ー ブ ラ シ	タトゥー (蝶)		
25	4	エ ア ー ブ ラ シ	切り絵 (自主制作)		
26	4	まつ毛エクステンション	衛生		
27	4	まつ毛エクステンション	アンダーテープ		
28	4	まつ毛エクステンション	相モデル	アンダーテープ	

29	4	まつ毛エクステンション	つけまつ毛に装着
30	4	まつ毛エクステンション	つけまつ毛に装着